

323
588

5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

始



石山福治編纂

支那語彙

東京 文求堂刊行

大正
14. 2. 21
丙寅

例言

- 一、本書は日常普通に用ゐらるゝ支那語一萬三千數百語を邦語のアイウエオ順に擺列したるものなれども、原來邦音を以て支那音を寫すことは甚だ無理なるの點少なからざるが故に、其の順序も事實に於ては飽迄徹底的に片假名順を墨守する能はざる事情あり、随つて重きを實際慣用上の便宜に置きて、餘りに學術的方面を顧慮せざるの方針によりたり。
- 二、書中に使用したる片假名の符號を解説約束すること次の如し
 ンに濁音符を施したるものは羅馬字の *ny* に當ることを示せるものなるが故に、我がンの軽く濁りたる心持にて出だすこと
 シミチに^レの符を帶ばしめたるものは舌上より出づるシチミ區別する爲にしたるものにして、舌尖を齒根に密着せしめて出だすものなるを示す
 テトに○符を加へたるものは舌尖と上顎との間に發するものにして羅馬字の *ts* 等に當るものなるを示す
 ラリルロに濁音符を施したるものは舌尖に若干の振動を帶ばしめて軽く出すものなるを示す
- 三、各音の四聲符號は從來の支那語書類には必らず必要條件と見做されたるものなるも、實際支那の四聲は各地毎に多少の差ありて飽迄も一貫的に墨守する能はざるものなるのみならず、各音緩合せの場合は随時の變化

を見るが常にして、書籍の上に其符を施すは割合に效果なく、却つて連続發音の場合屢々惑ひを生ずるの例尠なからざるが故に、本書には全然其聲符を除き、代ふるに音符の上に若干の手加減を加へたること、例へば上聲の長き發音を要するものには必ず「ー」を施し、稍々重き音を示す場合には同音を重複するが如き方法を用ひたり。

四、書中に用ゐたる括弧に、拙(笨)の如く、括弧内の字にも其音を附したるものは、拙の一字意を、拙笨の熟語意を併せ示したるもの、又括弧内の字に音を附せざること濕(溼)の如くしたるものは括弧内の字が上字と同一なることを示したるものなり

五、總畫索引の畫數を算ふるは俗に従ひ、艸冠弁の類は之を三畫に算へ、Bの類は之を二畫に算ふるが如き努めて簡便なるべきを主としたり。

大正十四年一月

石山福治手記

片假名發音順檢索

ア <small>(a)</small>一	ウオ <small>(wo)</small>二四	ウ <small>(ku, k'u)</small>二〇
アイ <small>(ai)</small>一	ウオ <small>(weng)</small>二四	ケ <small>(kei)</small>二〇
アオ <small>(ao)</small>二	エ <small>(eh)</small>二六	ケン <small>(kēn, k'ēn)</small>二〇
アン <small>(an)</small>三	エン <small>(yen)</small>二六	ケン <small>(kēng, k'ēng)</small>二〇
アン <small>(ang)</small>五	エン <small>(en)</small>二〇	コオ <small>(ko, k'o)</small>二〇
アル <small>(erh)</small>五	オ <small>(e)</small>二〇	コウ <small>(kou, k'ou)</small>二〇
イ <small>(i)</small>六	オウ <small>(ou)</small>二一	クワ <small>(kua, k'ua)</small>二〇
イン <small>(yin)</small>四	カ <small>(ka, k'a)</small>二一	クワイ <small>(kuai, k'uai)</small>二一
イ <small>(ying)</small>六	カイ <small>(kai, k'ai)</small>二一	クワン <small>(kuan, k'uan)</small>二一
ウ <small>(wu)</small>九	カオ <small>(kao, k'ao)</small>二二	クワン <small>(kuang, k'uang)</small>二一
ウイ <small>(wei)</small>一〇	カン <small>(kan, k'an)</small>二二	クワイ <small>(kuei, k'uei)</small>二一
ウエン <small>(wen)</small>一三	カン <small>(kang, k'ang)</small>二二	クイン <small>(kun, k'un)</small>二一

クウ ^ン (kung, k'ung)	五九	シイア(hsia)	七四	シュ(shu)	九八
ク ^ノ kuo, k'uo)	五八	シイアオ(hsiao)	七五	シユア(Shua)	一〇一
ク ^ア (sa)	六〇	シイア ^ン (hsiang)	八〇	シユア ^イ (shuai)	一〇一
ク ^イ sai)	六一	シイエ(hsieh)	八二	シユア ^ン (shuan)	一〇一
ク ^オ (sao)	六一	シイエ ^ン (hsien)	八四	シユア ^ン (shuang)	一〇一
ク ^ン (san)	六一	シイエ ^ン (hsien)	八四	シユ ^イ (shui)	一〇三
ク ^ン (sang)	六一	シウ ^ア ン(hsian)	七六	シユ ^イ ン(shun)	一〇四
ク ^ン (shih)	六二	シウ ^イ (hsü)	八六	シユ ^ウ (shuo)	一〇四
ク ^ン (sha)	六六	シウ ^イ ン(hsin)	八九	シユ ^ウ (shou)	九二
ク ^ン イ(shai)	六六	シウ ^エ (hsieh)	九二	シユ ^ン (hsin)	一〇六
ク ^ン オ(shao)	六六	シウ ^ン (hsiang)	九二	シユ ^ン (hsing)	一〇六
ク ^ン ン(shan)	六六	シウ ^ン (hsiang)	九二	ス(äu)	一〇六
ク ^ン ン(share)	七〇	シエ ^ン (shén)	九二	ス ^ウ (su)	一一一
ク ^ン ン(hsi)	七一	シエ ^ン (shéng)	九二	セ ^ン (sen)	一一一

ン(so)	一一一	チア(cha, cha)	一四四	チエ(che, ché)	一〇六
ンウ(sou)	一一四	チア ^イ (chai, ch'ai)	一四六	チエ ^ン (chéng, ch'eng)	一〇〇
ンロン(suan)	一一一	チア ^オ (chao, ch'ao)	一四六	チ ^ル (chu, ch'u)	一〇四
ソウ ^イ (sui)	一一三	チア ^ン (chan, ch'an)	一四六	チ ^ル ン(chua, ch'ua)	一〇六
ソウ ^イ ン(sun)	一一三	チア ^ン (chang, ch'ang)	一四〇	チ ^ル ン ^イ (chui, ch'uai)	一〇六
ソ ^オ (sé)	一一四	チ ^イ (chi, ch'i)	一四四	チ ^ル ン ^ン (chuan, ch'uan)	一〇六
ン ^オ ン(séng)	一一四	チ ^イ ア(chia, ch'ia)	一四六	チ ^ル ン ^ン (chuang, ch'uang)	一〇六
ン ^ン (sung)	一一四	チ ^イ ア ^オ (chia, ch'iao)	一四一	チ ^ル イ(chü, ch'ü)	一〇六
タ ^イ (ta, t'a)	一一五	チ ^イ ア ^ン (chiang, ch'iang)	一四一	チ ^ル イ ^ン (chün, ch'ün)	一〇一
タ ^イ (tai, t'ai)	一一三	チ ^イ エ(hsieh, ch'ieh)	一四六	チ ^ル イ ^ン (chüeh, ch'üeh)	一〇一
タ ^オ (tao, t'ao)	一一三	チ ^イ エ ^ン (chien, ch'ien)	一四〇	チ ^ル ン(chuan, ch'uan)	一〇三
タ ^ン (tan, t'an)	一一五	チ ^ウ (chü, ch'ü)	一四四	チ ^ル ン(chun, ch'un)	一〇三
タ ^ン (tang, t'ang)	一一三	チ ^ン ン(chung, ch'ung)	一四四	チ ^ロ (cho, ch'o)	一〇四
チ ^ン (chih, ch'ih)	一一六	チ ^エ ン(chén, ch'én)	一四四	チ ^ロ イ(chui, ch'ui)	一〇四

チモウ(chou, ch'ou).....124	ツウオ(tso, ts'o).....1104	トオ(to, t'o).....1124
チモ(chung, ch'ung).....124	ツオアン(tsu'an, ts'uan).....1104	トアン(tuan, t'uan).....1110
チン(chin, ch'in).....124	ツオイ(tsu'i, ts'ui).....1104	トイ(tui, t'ui).....1111
チン(ching, ch'ing).....124	ツオイン(tsu'in, ts'un).....1104	トイン(tun, t'un).....1111
ツ(tzu, tz'u).....124	ツオウ(tsuu, ts'ou).....1104	トウ(tou, t'ou).....1111
ツア(tsa, ts'a).....124	ツオン(tsueng, ts'eng).....1104	ドウ(tu, t'u).....1111
ツアイ(t'ai, ts'ai).....124	ツオン(tsuang, ts'uang).....1104	ドオ(té, t'è).....1124
ツアオ(t'ao, ts'ao).....124	テイ(t'i, t'i).....1104	ドオ(téng, t'èng).....1124
ツアン(tsan, ts'an).....1100	テマオ(t'iao, t'iao).....1111	ズン(tung, t'ung).....1124
ツアン(tsang, ts'ang).....1101	テイ(tei).....1111	ナ(na).....1124
ツァ(tsei).....1101	テウ(t'iu).....1111	ナ(na).....1124
ツウ(tsu, ts'u).....1101	テヒ(t'ieh, t'ieh).....1111	ナオ(nao).....1124
ツン(tsen, ts'en).....1101	テヒン(t'ien, t'ien).....1111	ナン(nan).....1110
ツク(tse, ts'è).....1101	テイン(t'ing, t'ing).....1111	ナン(nang).....1110

ニ(ni).....1100	ネン(nên).....1111	フエン(fên).....1111
ニア(niao).....1111	ネン(nêng).....1111	フォ(fo).....1111
ニアン(niang).....1111	ノ(nô).....1111	フォウ(fou).....1111
ニヒ(nieh).....1111	ノウ(nou).....1111	フオン(fêng).....1111
ニヒン(nien).....1111	ノ(na).....1111	ノイ(hei).....1111
ニン(nin).....1111	ノイ(hai).....1111	ノヒン(hên).....1111
ニフ(niu).....1111	ノオ(hao).....1111	ノヒン(hêng).....1111
ニフ(niu).....1111	ノン(han).....1111	ホ(ho).....1111
ニフ(nüeh).....1111	ノ(hang).....1111	ホウ(hu).....1111
ニン(ning).....1111	フ(fu).....1111	ホウ(hui).....1111
ヌ(nu).....1111	ファ(fa).....1111	ホウ(hun).....1111
ヌン(nuan).....1111	ファン(fan).....1111	ホウ(hung).....1111
ヌオン(nuang).....1111	ファン(fang).....1111	ホオ(huo).....1111
ネイ(nei).....1111	ファイ(fei).....1111	ホオ(hou).....1111

ホフ (hua)	フ
ホフ (huai)	フ
ホフ (huan)	フ
ホフ (huang)	フ
ホ (pa, p'a)	フ
ホ (pai, p'ai)	フ
ホ (pao, p'ao)	フ
ホ (par, p'an)	フ
ホ (pang, p'ang)	フ
ホ (pi, p'i)	フ
ホ (piao, p'iao)	フ
ホ (pieh, p'ieh)	フ
ホ (p'ien, p'ien)	フ
ホ (pin, pin)	フ
フ (ping, p'ing)	フ
フ (pu, p'u)	フ
フ (pei, p'ei)	フ
フ (pen, p'en)	フ
フ (po, p'o)	フ
フ (p'ou)	フ
フ (p'eng, p'eng)	フ
フ (ma)	フ
フ (mai)	フ
フ (mao)	フ
フ (man)	フ
フ (mang)	フ
フ (mi)	フ
フ (miao)	フ
フ (mieh)	フ
フ (mien)	フ
フ (min)	フ
フ (ming)	フ
フ (mu)	フ
フ (mei)	フ
フ (men)	フ
フ (mo)	フ
フ (mou)	フ
フ (meng)	フ
フ (ya)	フ
フ (yao)	フ
フ (yang)	フ
フ (yuan)	フ

ユイ (yii)	イ
ユイン (yün)	イ
ユエ (yieh)	イ
ユオウ (yau)	イ
ユ (yo)	イ
ユ (yung)	イ
ラ (la)	イ
ラ (lai)	イ
ラ (lao)	イ
ラ (lan)	イ
ラ (lang)	イ
リ (li)	イ
リア (lia)	イ
リアオ (liao)	イ
リア (liang)	イ
リウ (liu)	イ
リエ (lieh)	イ
リエ (lien)	イ
リン (lin)	イ
リュイ (liu)	イ
リン (ling)	イ
ル (lu)	イ
レイ (lei)	イ
ロ (lo)	イ
ロウ (lou)	イ
ロウアン (luan)	イ
ロウイン (lun)	イ
ロオン (lung)	イ
ロオ (le)	イ
ロオン (leng)	イ
ロオ (liao)	イ
ロアン (lan)	イ
ロアン (lang)	イ
リ (li)	イ
リエ (lieh)	イ
リエ (lien)	イ
リン (lin)	イ
リュイ (liu)	イ
リン (ling)	イ
ル (lu)	イ
レイ (lei)	イ
ロ (lo)	イ
ロウ (lou)	イ
ロウアン (luan)	イ
ロウイン (lun)	イ
ロオン (lung)	イ
ロオ (le)	イ

刀	乃	了	力	十	入	八	二	乙	一					
二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	一畫					
子	千	大	丈	川	三	也	七	又	九	几	丁	刁		
一畫	二畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫		
小	山	上	下	巳	乞	巳	尸	口	寸	才	土	土	工	干
二畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫
勻	又	久	也	弋	丫	刀	夕	弓	亡	九	凡	女		
二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫		
太	少	公	凹	凸	尹	引	冗	尤	允	云	元	月	日	
三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	三畫	
木	仇	化	仍	仁	什	及	友	天	火	文	父	夫	犬	天
二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫	二畫
丑	內	勾	勾	勿	午	丰	支	之	毛	予	牛	手	水	戈
一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫	一畫

一、二、三、四

支那語彙總字畫索引 (數字は頁数を示す)

ロオ、ン(jeng) 三二四
 ト、ン(jung) 三二四
 ワ(wa) 三二四
 ワイ(wai) 三二五
 ワン(wan) 三二五
 ワン(wang) 三二六

片假名發音順檢索

不行

畦略都郵隊階陽隄隆疵痕痒痊痔逝逝透

ㄩㄨㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

票祭紮絆終絃紹組紳紬細累畢異魚專野

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

管笨第衆袋袂袖被袍祥粘粗彩彫參巢

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

許訪詎訣彪處虛蚱蜢蛋蛆蛇符笛笙簞簪

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

匙乾執瓶勒動斬軟欲欸舩舵船訟設訛

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

羞雪擘屏閉問圈國鹵匾飛戚盛盒剪鳥梟

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

酬殼硃常率帶習翎斜釵釣鈞釧張毬

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

十一
十二

一五

十二畫

啐唾唬哨够苟菊菽菱菱菸葉菜萍菩萃莠

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

埠域堆培婉婉婊婚婦婢娼娶婆售啓唱唼

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

梅梧樞板梯梢梳桶桿柺崎嵌崩崗堂堅基

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

理現望毫烹商竟章產爽麥移梓梨梁械梭

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

睚眼眯眇眇朗脚淳脣晝晨晰晡暉將球琉

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

族教救赦敏敗販頂頃規覓責貧貨食真眷

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

造逢途逗逗通這速連逍愆悠悉愚患旌旋

ㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋㄩˊㄩˋ

十一

一四

支那語辭彙

石山福治編



阿^ア肯諾の意を表はす一種の表音詞
 阿^ア人倫の稱呼に冠する發語詞
 阿^ア公子 貴族の長子、貴公子
 阿^ア皇子、兄、皇太子を大阿哥
 阿^ア哥^コ 阿房宮(秦始皇の)

ア阿、啊、阿、愛、哀、挨

阿^ア父、おとうさん
 阿^ア媽^マ お父さん(旗人の語)、母、お
 阿^ア間^マ 阿^ア投^ト 阿^ア結^ケ 阿^ア比^ヒ 阿^ア及^キ 阿^ア間^マ 阿^ア投^ト 阿^ア結^ケ 阿^ア比^ヒ 阿^ア及^キ
 阿^ア及^キ 阿^ア間^マ 阿^ア投^ト 阿^ア結^ケ 阿^ア比^ヒ 阿^ア及^キ
 阿^ア及^キ 阿^ア間^マ 阿^ア投^ト 阿^ア結^ケ 阿^ア比^ヒ 阿^ア及^キ

哀^ア不潔なる、汚穢なる、きたなし
 哀^ア一^{イチ} 哀^ア二^ニ 哀^ア三^{サン} 哀^ア四^シ 哀^ア五^シ 哀^ア六^{ロク} 哀^ア七^{シチ} 哀^ア八^{ハチ} 哀^ア九^ク 哀^ア十^{ジュ}
 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ}
 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ} 哀^ア十^{ジュ}

一

安 不安 取付けがたき
 安 非常口
 安 寓居を定むる、住居を設く
 鞍 馬のくら
 鞍 鞍の中央部、鞍心
 鞍 鞍と其附屬品全部の稱
 庵 尼寺、庵寺
 庵 庵寺の住僧(比丘尼)
 俺 おら、おれ、わし(北支那の田舎に行はる、第一人稱)
 鵪 うづら
 按 則る、據る、照し合せる、考へる、手にておさへる
 按 均分 株に應じて分配す
 按 下押 押へつける、抑へる
 按 査収 査目(シヨウ)に照して受取る

按 則りて、照して、據りて
 按 法律に據りて、法に照す
 按 分に應じて
 按 兵の配置かするこま
 按 法律に照して、慣例によりての意
 按 院 前清時代の按察使(官名)の役所
 按 細長キテーパー、事件、事件の記録
 案 考 試験する(科擧時代に)
 案 懸 事柄の解決が延々になる、懸案になる
 案 結 事件の結末、事件を終る
 案 件 事件、事から
 案 桌 官衙に備付けたる公務用のテーブル
 案 卷 事件の記録、事件の文書
 案 情 事件の内容、事柄の状態

案 板 細長き板
 案 由 事件の由来
 暗 くらき、やみ、密かに、蔭に
 暗 暗的 こつそりこ、密々に
 暗 溝 下水、暗渠
 暗 笑 心中にて笑ふ
 暗 想 密かに思ふ
 暗 算 陰謀する、密かに計畫する
 暗 探 密偵、探偵
 暗 中 秘密に、密かに、こつそりかくし柱(壁にて塗り包みたる)
 暗 地 暗き場所、密かに
 暗 訪 密偵、密かに探偵する
 暗 花 密偵、密かに探偵する

アン、鞍、庵、俺、鵪、按、案、暗

四

暗 火 うづめ火
 暗 碼 暗號(電信などに用ふる)
 暗 幕 内幕、黒幕
 暗 昧 愚なる、魯かなる、愚昧
 暗 樓 屋根裏、天井裏のこま
 暗 練 熟練する、熟達する
 岸 岸の險しき堤
 岸 不潔なる、汚穢なる
 昂 上がる、高くなる
 昂 昂揚たる、意氣軒昂なる
 昂 貴 高價なる、騰貴する
 昂 息子、子供、又名詞に附せらるる
 兒 葵 あな(葵花)
 兒 媳 よめ、息子の嫁

兒 孫 子と孫、子孫、子供たち
 兒 子 子供、息子
 兒 夫 夫、娘の夫、むこ
 兒 女 娘、子供の總稱
 兒 馬 牡馬、をうま、駒
 兒 郎 息子(むすこ)、夫
 兒 驃 牡驃馬(をすらば)
 而 而して、其上で、そこで
 而 況 尙、況してや
 而 且 其上、加之、又更に
 而 今 いま、目下、現在
 耳 刮 子 耳のつけ根、耳根
 耳 塞 耳垢、耳屎(み、くそ)

耳 扇 毛の着きたる耳掩ひ
 耳 性 物事を聞きて心を留める記
 耳 性 臆心
 耳 喳 さ、やく、耳元にて語る
 耳 釧 兒 耳輪
 耳 唇 兒 耳たぶ
 耳 底 子 鼓膜、耳底、耳の奥
 耳 朶 朶、
 耳 朶 溢りに人の言を信する
 耳 朶 軟 氣の變り易き
 耳 房 正面室に連なる兩側の室
 耳 風 善からぬ風説、惡評
 耳 背 耳の遠き(老人などの)
 耳 帽 耳蔽ひのつきたる帽子
 耳 門 耳の入口
 耳 挖 子 耳かき

アン語、岸、昂、兒、而、耳、

五

一路貨	同種の商品、同じ品物	依線	縫糸(ぬいいと)	依從	したがふ、隨從する
壹	一、ひごつ、一に同じ	衣架	衣桁(いかう)	依允	ゆるす、承諾する
醫師	治療する、癒す	襟	衣服	依戀	名殘惜しき、戀々たる
醫生	醫師	鏡	姿見鏡、化粧鏡	伊彼	それ、其
醫道	醫術、醫法	帽	服裝、身のなり、なりふり	伊始	其始、その最初
醫照	醫術開業免許狀	依	よる、依頼する、從ふ	伊等	彼等、それら
醫金	診察料、藥價、醫師への謝禮金	依議	提議の如くに取扱ふ	伊年	其年、彼の年
醫調	治療する、治療する	依倚	よる、たよる、依頼する	揖	手を組み合せて挨拶する
醫得	治療し得らる	依序	順序によりて	揖拱	手をこまねく
醫不來	治療し得ざる、こま	依實	確實なる、懇切なる	揖讓	禮を施さず、挨拶する
醫婆	女子の醫師	依隨	したがふ、つく、賛成する	醫鬚	かたくす、かさす
衣冠	着物、衣服、ころも	依道	道理に合ふ、合理的なる	醫毛	睫毛(まつげ)
衣齊	楚風采の引締りたる	依着	依據する、恃んで、よりて、	裔末	後裔、子孫
衣衫	衣服、きもの、衣裳	衣次	順序により、次第により	乙	おつ、きのこ、又一に代用す

弋	獲る、さる	姨母	同上	疑	うたがふ、疑問
鈹	イリジウム(化學元素の名)	移	移す、移る、移文(官公文書の文)	疑案	疑獄、疑はしき事件
遺	のこす、のこる、失ふ	移文	官公文書の一種	疑心	フオンヒステリー、ヒコボン
遺悞	まちがひ、あやまる	移時	暫らく過ぎての意	疑狐	狐疑する、疑惑する
遺下	先人より残されたる	移書	移牒する(同等官署間に)	疑病	疑ひ深き、ヒステリーの類
遺卻	除外する、残す	移病	傳染病、うつる病	怡	喜ぶ、たのしむ
遺體	忘れがたみ	移玉	御來駕、御光來	怡	のこす、與ふる、おくる
遺念	忘失する、忘る、失念する	儀	御禮、禮式、式典、規律	逸	逃る、失ふ、それる
遺餘	殘餘、のこり、あまり	儀文	官公文書、四角張りたる文	逸	囚人を逃す、逃亡囚
姨	はば、母の姉妹	儀門	官署の正門をいふ	逸	逃走囚、逃走囚
姨子	(兒)同上	儀容	正しき容體、儀式のやうす	宜	宜しき、適當なる
姨夫	妻の姉妹の夫	益	利益、益する、益	宜	前清の制官吏の妻に與ふる
姨婆	姑の姉妹、おばさん	益處	有益なる所、益する所	夷	夷狄、野蠻人
姨娘	同上	益發	益々、更に、彌々	誼	友誼、情誼、よしみ

一七、依、遺、姨、移、儀、益、疑、怡、貽、逸、宜、夷、誼

誼友	親密なる友人、交誼ある人	擬定	制定する、決定する	尾騎	乘馬者の最後にある人
腹(子)	石鹼、しゃぼん	倚	よる、恃む、頼りにする	尾巴	動物などの尻尾、尾
倚	古代の舞人	倚靠	カオよりかゝる、頼りにする	矣	語尾句尾の助詞、終止又は決定を表はす語
進	地勢の斜に延長せること	蟻窩	あり	義	正義の、公共の意、又假りなること、意義
佚	安樂なる、平和なる、逸樂	蟻丘	蟻の巢、蟻の塔	義兒	義子(繼子)、もらひ子
詣	到る、到着する	椅	同上	義務	慈善演劇、義捐を目的とする芝居
以	以て、用ゐて	椅(子)	椅子(椅子)	義國	伊太利國(イタリヤ)
以	及び……に至る迄……	椅靠	椅子の背部のよりか、椅子	義社	公共の爲めに設けたる貧民學校の類、義塾
以	……及び……に至る迄……	椅搭	椅子を被ふ布、椅子の被套	義學	かつら、假髮
已	既に、終る、過ぎる	椅墊	椅子用の小蒲團	義甲	こしらへたる爪、假爪
已	繳入濟、拂込濟、收入濟	椅披	「椅搭」に同じ	義井	共同井戸
已	經すでに、さうに、もはや	尾聲	又「ウエイ」、尾	義塚	共同墓地、無縁の墓地
已	往過ぎ去りたる、既往	尾聲	後聞、餘聞、最後の消息	義倉	繼子、もらひ兒
擬	又「ニイ」の音、……せんとする、假定する				救濟川の穀物を貯へ置く倉庫

義地	共同墓地、無縁墓地	意會	心に理會する、わかる	奕	大なる、博奕
義田	公共救濟用の土地	意願	願ふ、心に願ふ、希望する	奕棋	圍碁、かけ碁
義父	繼父、ま、父、義理ある父	憶(念)	思ふ、心におもふ	譯	解釋する、譯する
議	議する、相談する、はかる	異路	異なる、珍奇なる、不思議なる、異なること	譯音	固有名詞などの音を漢字にて表はせること
議叙	證衡する、證議登用する	異功	卒伍の間に立身する、特別任用の出	譯稱	譯述する、譯して記す
議單	相談したる筆記錄	藝能	技術、技藝	譯材	翻譯の能ある人のこと
議處	議して處分する(當局者が)	藝業	技術、技藝、わざ	驛場	宿場、いき、驛站
議價	價格を相談する、れぎる	藝不	力わざ、小役人、勞力	驛館	宿場の建物、宿場の旅館
議論	合議する、意見を述べて打	役差	小役人、小吏、下役、胥吏	釋	たづねる、をさむる、さぐ
意	意思、こゝろ、意義	役夫	人足、労働者	釋究	研究する、討究する、たづねる
意國	イタリヤ國、伊國に同じ	抑	抑へる、發語辭	肄	習ふ、習熟する
意思	思ふ、心に想像する	抑或	或は、又は、抑々又	肄業	業を習ふ、修業する
意思	意義、意味、意見、こゝろ	亦	また、……もまた	肄習	習ふ、修業する
意錢	賭博のこと			易	容易なる、易き、易

穩 ウエン おだやかなる、安定する、おちつきたる

穩 ウエン 安定せる、妥當なる

穩 ウエン 安住する、おだやかに、安定する

穩 ウエン 妥當なる、穩當なる

穩 ウエン 婦女の屍體を檢案する者 (女子)

劓 ウエン はれる、きる

問 ウエン 問ふ、質問する

問 ウエン 事件を問ひしらべる

問 ウエン 見舞する

問 ウエン 眞了 實を申せば……

問 ウエン 好機嫌を伺ふ、安否を問ふ、よろしくいふこと

問 ウエン 候 時候の挨拶をする

窩 ウオ ひび、細きす、すじ

窩 ウオ 巢、かくれ家、巢窟

窩 ウオ 饅頭の一種

窩 ウオ 兒 陷穽、をこしあな

窩 ウオ 眼 金つばまなこ

窩 ウオ 過 内方へ曲げる、たはめ

窩 ウオ 心 心臓、心に思ひ蓄へる

窩 ウオ 娼 密娼、公許せられざる娼妓

窩 ウオ 主 隠匿所の主、巢窟の主

窩 ウオ 藏 かくす、かくれる

窩 ウオ 賊 盗賊などの窃取せる品 (贓品) を賣買する者、けいづ買

窩 ウオ 巢 巢を構へる賊、盜賊

窩 ウオ 子 巢、すみ家、不正者の住家

窩 ウオ 子 子供を寝せる

窩 ウオ 鋪 小屋、物置

窩 ウオ 棚 小屋、物置

窩 ウオ 留 隠匿する、かくす

倭 ウオ 日本のこと

倭 ウオ 瓜 南瓜、かぼちゃ

倭 ウオ 緞 ビロード

矮 ウオ 脚 足をまげる、足をくちく

我 ウオ 我、私、僕、吾輩、余

我 ウオ 各人 僕自身、私自身、私單獨

我 ウオ 行 我法 我意を張り通す

我 ウオ 兄弟 小生、私、我輩

臥 ウオ 臥す、寝る、やすむ

臥 ウオ 櫃 横櫃、細長き箱

臥 ウオ 榻 臥床、寢臺

臥 ウオ 房 寢室

臥 ウオ 柳 枝垂柳 (しだれ柳)

握 ウオ 手にておさへる、又ウウ (上平) の音あり

握 ウオ 眼 眼をふさぐ (手にて)

醒 ウオ 不潔なる、又ウの音あり

翁 ウオ 老人、老年者に對する敬語

翁 ウオ 姑 夫の父母、舅姑

翁 ウオ 父 老人、父

翁 ウオ 婆 舅姑、しうさしうごめ

甕 ウオ かめ、缸の較々大なるもの

甕 ウオ 城 城壁の突出せる穹窿部

甕 ウオ 頭 春 銘酒の名

甕 ウオ 洞 城壁の通行門、城のくゞり

工 ウオ 門

噎 ウオ むせる、咽喉のつまる

噎 ウオ 住 いきのつまる、むせる

爺 ウオ 老爺、おまこ、他人に對する敬稱の一種

爺 ウオ 兒 親子二人

爺 ウオ 爺 祖父、おぢいさん

爺 ウオ 台 地方官のこと

爺 ウオ 娘 男女、父母

爺 ウオ 們 男子たち、男子の復数を表はす語

耶 ウオ 文章の疑問辭

椰 ウオ 椰子 (やし)

也 ウオ ……も亦、また

也 ウオ ……も亦可、……も宜し

也 ウオ ……も宜し、……でも良い

野 ウオ 好 ……も宜し、……でも良い

野 ウオ 粗 原野、野蠻なる、野鄙なる、粗策なる

野 ウオ 味 獸肉等をいふ

野 ウオ 狗 飼主なきのら犬、野犬

野 ウオ 食 野菜、青物

野 ウオ 子 戲 鈍帳芝居、田舎芝居、村芝居

野 ウオ 大 戲 露店、露店物、安物

野 ウオ 攤 露店、露店物、安物

野 ウオ 鷄 等私娼のこと、いふ

野 ウオ 猪 猪 (いのしし)

野 ウオ 種 私生兒、て、なしこ

野 ウオ 賭 野天博奕

野 ウオ 頭 野 愚なる人のこと

野 ウオ 猫 兎 (うさぎ)

野 ウオ 盤 露宿、露營することを打〇

野 ウオ 治 露る、美しきこと

野 ウオ 坊 ちや

治 容 容 化粧したる姿、あてやかの容貌
 夜、夜中
 夜 個 昨日(天津地方の方言)
 夜 哭 泣きする小兒
 夜 工 夜業、よなべ
 夜 消 夜食、夜食へる食事
 夜 上 夜中、晩中
 夜 擲 子 夜店、夜の露店
 夜 打 夜業する
 夜 緊 夜中の物騒なること
 夜 班 夜勤、夜中勤務、夜中の當直
 夜 壺 しゆびん、小便する壺
 夜 黒 暗夜、夜中

夜 猫 子 鼻(ふくらう)
 夜 遊 子 宵ツぱり、夜遊好きの
 掖 垣 宮殿の圍牆、宮城の塀
 業 職 業、業務、財産
 業 主 不動産の所有権者、土地所
 業 經 己に、既に、もはや、ミツ
 業 産 財産、家産、不動産
 業 戸 營業者、從業者
 業 葉 姓氏に用ふる時は音シヨ
 葉 金 金箔、薄葉金
 葉 子 菸 葉煙草、煙草の葉
 腋 わき(身體の)
 謁 謁見する、會ふ、お目にかゝる

拽 頁 書籍の一面、ページ
 烟 煙 煙草、阿片、けむり
 煙 癮 阿片中毒の痼疾
 煙 葉 たばこの葉、葉煙草
 煙 館 阿片を吸はせる店、阿片吸
 煙 鬼 阿片吸食の常習者
 煙 絲 刻み煙草
 煙 袋 煙管(きせる)
 煙 袋 煙管の羅字(らう)
 煙 袋 煙管の火皿
 煙 袋 煙管の吸口
 煙 瘴 氣候風土の悪しき地方
 煙 塵 煙草又は阿片の吸から

煙 鎗 阿片を吸ふに用ふる煙管
 煙 阡 子 阿片を吸ふに用ふる細
 煙 衝 阿片又は煙草の力(強き)
 煙 嘴 パイプ
 煙 土 粗製阿片
 煙 頭 兒 吸殻(すひがら)
 煙 筒 煙突、けむだし
 煙 荷 包 煙草入(腰に下げても
 煙 壺 かきたばこ(粉末の)入
 煙 灰 吸から(煙草の)
 煙 戶 庶民、人民
 煙 花 柳界、狹斜
 煙 盒 兒 阿片入、煙草入
 煙 包 兒 たばこ入

煙 煤 すす、
 菸 たばこの總稱、葉卷煙草
 菸 捲 兒 紙卷煙草
 烟 脂 (へに)、化粧へに
 烟 粉 べにおしろい、化粧する
 烟 粉 計 婦人を玉に使ふ詐欺
 焉 如何にして?(反語)
 焉 敢 如何にしても能はぬの意
 淹 水にひたる、水につかる
 淹 濕 浸りて濕ること
 淹 死 溺死する水に浸りて死する
 淹 溺 溺る、水に浸ること
 醃 鹽にて漬けること
 醃 菜 漬物、野菜の漬物

醃 臘 火腿(豚肉の)
 關 去勢せる人、又家畜類の去勢し
 關 割 去勢する
 關 猪 去勢したる豚
 沿 猪 去勢したる豚
 沿 街 町ぞひ、町づたひ
 沿 着 邊 兒 へりをつける
 沿 門 門なみ、門にそふ
 延 門 門なみ、門にそふ
 延 候 遅延する、遅滞する
 延 悞 遅延する、遅滞する
 延 擱 延滞する、永く抛つて置く
 延 請 招聘する
 延 纏 病氣などの長びくこと
 延 聘 員 囑託員、頼みたる委員

開端 發端、はじめ、緒
 開腿 歩き出す、歩行を始める
 開行 營業開始、取引相場の寄付
 開班 學年始め、藝者屋を始める
 開盤 相場の立會を始める、寄付、最初の取引
 開盤 子 妓樓の遊興費
 開旁 誇言する、ほらを吹く
 開砲 大砲を打ち出す、砲の射撃開始
 開復 免職處分の取消をするこ
 開發 支拂する、支出する
 開飯 食事の用意をする、食事を卓に出すこと
 開放 支給する、ゆるす
 開方 子 處方箋をくれる
 開懷 胸のすく、氣ばらしする

開花 砲 榴散彈、ばら彈
 開廟 寺社の祭禮、緣日、開帳
 開蒙 手ほごきする、初學者を導くこと
 開臉 結婚の時嫁が額を剃ること
 開列 書き出す、かきならべる
 開挖 採掘を始める(礦物などを)
 開外 以上(年齢など)、四十開外は四十歳以上の意
 楷(寫) 楷書、楷字
 慨(然) 心よく、快然として
 慨允 快諾する
 鑑(甲) 甲冑、よろいかぶこ
 高(傲) 高き、上等なる、秀でたる
 高(昂) 高慢なる、たかぶる
 高(昂) 高々としたる、高くあがる

高(的) 非常に高き
 高(口) 味 良き味、上等の味
 高(身) 身長の高き、丈けの高
 高(量) 量
 高(壽) 高齡なる、老年なる
 高(陞) 出世する、陞進する、上へあがる
 高(興) 興味ある、面白き
 高(姓) 貴姓(敬語)
 高(抬) 價上げする、價格を上げる
 高(抬) 輕放 罪責を赦すこと
 高(推) 兒 妙策、高見、貴策
 高(腔) 高調子、高聲
 高(翹) 竹馬の如きもの
 高(中) 御及第(人の及第を祝する語)
 高(甜) 醬 上第の味噌の如き食物

高(行) 相場の高き
 高(命) 人 幸運の人、仕合せ者の類、朝鮮
 高(麗) 膏藥、あぶら
 高(膏) 恩 厚恩、厚き恩惠(めぐみ)
 高(燥) 豚の脂肪
 高(車) 油 車に脂油をひく
 高(肥) 脂肪ぎりたる(脂肥滿)
 高(火) 食料費、食事の代價
 高(滑) すべくせる、滑らか
 高(梁) 豊かなる、富有なる
 高(露) 甘露
 高(羔) 子 羊の子、兒羊
 高(糕) 餅の如き粘氣ある食物

糕(乾) 同上
 糕(乾) 乾菓子的一種、乳兒の食料
 篙(水) 棹(みさを)
 稿(子) 原稿、草稿、下書(一般文書の)
 稿(案) 官文書の原案、原稿
 稿(公) 書記、記録係
 稿(書) 草稿、下書
 稿(底) 子 草稿、文書の下書
 稿(房) 書記室、記録室
 稿(枯) 枯る、しなびたる、生氣なき
 稿(白) 白色、無地のもの
 稿(素) 白色の、無模様
 告(訴) 訴ふる、訴訟する
 告(官) 訴訟を提起する

告(個) 便兒 手水にゆく、便所
 告(休) 辭職する、辭任する
 告(貸) 借用を申込む
 告(倒) 了 敗訴したり、訴訟に負けたり
 告(校) 比較する
 告(假) 請暇する、休む、缺席する
 告(解) 懺悔する、告白する
 告(借) 借用を申入れる
 告(成) 落成する、成功する
 告(終) 養 終養に奉仕する爲辭仕
 告(盡) 無くなる、盡くる
 告(狀) 訴訟、訴訟する
 告(竣) 竣力する、落成する、出来あがる
 告(退) 辭職する、辭任する

カオ膏、羔、糕、篙、稿、稿、稿、告

趕 同上の畧字
 趕 快急、急ぎて、急に、速かに
 趕 鬼、鬼逐ひ、追儼(せつぶん式)
 趕 急ぐ、追ふ、遭遇する、間に合ふ
 趕 急いで行く、……到るに及び
 趕 上 追つき得らる、間に合ふ
 趕 錐 螺旋錐、ポート錐
 趕 集 集會に参加する、市へ出る
 趕 緊 急いで、速かに、はやく
 趕 車 馬車などの馭者
 趕 脚 馬士(まこ)
 趕 早 早立ち(旅行の)
 趕 會 會合に参加する
 趕 廟 寺社へ遊びに行くこと

趕 驢 驢馬を取する者、驢馬
 趕 網 網さであみ、網の一種
 趕 檄 かんらん(果物)
 擗 引のばす、平めてのばす
 擗 皮子 饅頭などの皮を平たくのばすこと
 擗 麵杖 饅頭類を平めてのばす棒
 桿 竿、木の細長き棒
 桿 兒 上の 親方、取締(乞食)
 桿 首 かしら、おやかた、取締
 幹 行ふ、……する、實行する
 幹 營 職業を掌る、仕事をす
 幹 事 仕事をす、事を實行する
 幹 甚 何をするか、何を爲すか
 幹 臣 能ある臣下、仕事の出来る家來

幹 得 爲し得る、事を行ひ得らるること
 幹 員 能力ある官吏、實力ある官吏
 幹 練 熟練せる、仕事に熟したる
 堪 堪 堪ふる、事に堪へること
 堪 宜 適當なる、恰かも宜き、丁度適合する
 堪 可 同上
 堪 地 甚だ適當なる、恰當なる
 堪 當 恰度相當なる、適當なる
 堪 用 役に立つ、用ふるに堪ふ
 堪 任 任務に堪ふ、役にたつ
 看 護 見る、見まもること
 看 家 番犬、家の番する犬
 看 街 市街の見廻人、町内の番人
 看 錢 鬼守錢奴、金錢の番人

看 孩 子 守、子供のりする
 看 門 的 門番、入口の番人
 刊 行 刊行する、刻版する、印刷する
 刊 誤 正誤
 刊 啓 印刷したる通信文
 刊 件 印刷物、刊行せるもの
 刊 資 廣告掲載料、印刷料
 刊 例 刊行する規定(廣告料等)
 龕 佛龕、厨子(つし)
 龕 兒 妓樓に泊る時の玉代
 坎 八卦の稱、陷し穴
 坎 兒 大厄の年
 砍 切る、刃物などにて切りおろす
 砍 下 来 切りおろす、切りつけ

砍 死 切り殺す(凶器などにて)
 砍 肩 衣 チヨツキの類、袖無し
 砍 頭 瘡 頭の廻りに出る腫物
 檻 檻(車) 四人護送車、又チイエマ
 侃 侃然たる、侃々たる
 看 見 見る、目にて見る、まもる
 看 塾 墓地を選定する
 看 過 曾て見たることありたりの世話をす、愛顧する、面倒を見る
 看 顧 小説などの語に見る人、讀者を注意する、世話する、面倒を見ること
 看 管 トマト
 看 柿 見される、見あげる
 看 上 見される、見あげる
 看 勢 作事 臨機應變の才あること

看 待 待遇する、厚遇する
 看 起 來 見來れば、敬意を表す
 看 輕 了 侮る
 看 見 過 見たることありたり
 看 中 氣に入る、意に適する
 看 頭 兒 みごころ、みげ
 看 不 見 見ない、見ぬ
 看 不 起 蔑視する、侮る、輕蔑する
 看 風 頭 日和見する、形勢を觀望する、たずねる
 勘 考 考ふる、測る
 勘 誤 正誤する、誤を正す
 勘 丈 測量する、はかる(土地など)
 剛 剛き、今、只今、今し方

クウ買、股、殺、凸、故、固、願、鋼、哭、窟、枯、虧、苦

四二

買(商人、姓氏の場合には)チイア
買(上聲)の音
市 市場、賣買市場
株式、組、また、も、
銀 株金
款 株金、出資金
息 株式の配當分
單 株券
主 株主
子 株式
董 株主
東 株主、出資者
匪 隊を組みつて横行する匪賊
份 株式
票 株券、又股份票ともいふ

股 株式定款、株式に關する規
約 定
利 株の利益、利益の配當分
穀(輪) 車輪、車の輪をいふ
凸 中高なる
故 事故、理由、故に、古き、死せ
術 舊套陳腐の手段
套 古くからあり來りの手段
犯 故意に犯したる罪
故 故里、ふるさと
固 意志の固き
固 意の固き
固 然(もさより、當然、言ふまで
然(人馬車船など一切のもの
雇 人足を雇ふ

雇 了 雇入れ方を確定したり
顧 顧る、愛顧する、世話する
顧 主 花客(さくらあ)、顧客
願 生活を願慮すること
鋼(路) 古鋼を修繕する人
哭 泣く、聲を出して泣くこと
哭 死する程に泣く(悲みの極)
哭 起 來 泣き出す
窟(窿) 穴、穿ちたる穴
枯 枯る、枯死する
枯 血 貧血する、血の氣が無くな
枯 骨(體骨) されかうべ、ごころ
苦 苦(味の)、くるしみ、くるし
功 苦役、劇しき勞動

クウ、庫、袴、褲、酷、ケ、給、ケン、根、跟、肯、啃

四三

瓜 荔枝(れいし)
待 酷遇する、忠待する
窄 貧苦なる、貧窮の極なる
主 殺されたる人の爲めに訴ふ
酒 ビール
竹 眞竹(またけ)
差 苦役
地 貧しき土地、瘠土の地
拔 苦 辛うじて
磨 磨 辛うじて
雨 霖雨(ながあめ)
倉 倉庫、くら
房 倉庫
平 通用銀の一種(納税に
用ひたる)

袴 ばかま、股引の類
褲 同上
帶 子 袴紐、袴を繋る帶
袴 袴の下部
脚 袴の裾
腰 袴の腰部
酷 酷好 ひごく、甚だ、酷烈なる
酷 好 ひごく好い、甚だ喜き
ケ
給 與ふる、くれる、爲にする
給 我 爲に買つてくれ、私の
根 根、れ、根本
脚 土臺、基礎

根 究 究盡する、根本的に研究す
根 由 根本の理由、由來、わけ
根 簿 元帳、台帳
跟 後よりつき従ふ、隨從する
跟 誰 誰にそんな悪い
跟 誰 誰にそんな悪い
跟 隨 隨從する、したがふ
跟 他 彼に向つて要求する
跟 前 其前、足元、目前
跟 脚 的 驢馬夫
跟 頭 的 腰に挿む錢入
跟 班 的 官吏などの下僕、從者
肯 承 承諾する、肯諾する
肯 承 承諾する、肯諾する
啃 骨 骨をかむ、かじる
啃 骨 骨をかむ、かじる

懇 願ふ、懇願する
 懇 求(チ)お願ひする、懇願する、切に願ふこと
 墾 開墾する、土地を拓く
 更 戸(ホ)開墾者
 更 更(ニ)一層、其の上、別に、(チ)更(上平)を見よ
 更 休(シユ)交代してやめる
 更 替(カ)交代する、かはる
 更 換(カ)かへる、交代する、交換する
 更 房(フ)時を報する番小屋
 更 夫(フ)時を報する番人、夜番
 更 名(ナ)改名税、名義變更の手
 更 樓(ロウ)時を報する樓
 更 樓(ロウ)耕す、耕耘する
 羹 煮(シユ)もの、汁の一種

羹 湯(トウ)汁(食物の一種)
 羹 匙(チ)汁をすくふ匙(さじ)
 梗 うるち米
 梗 同上
 庚 十千の一、年齢
 庚 金(キン)西の方
 庚 帖(チヤウ)年齢を記したる書付
 庚 年(ネン)年齢、生れ年
 耿 (直)正直なる、剛直なる
 耿 直(チキ)むせる(飲食物の爲に)
 耿 咽(エツ)むせる
 哽 同
 巨 巨(キョウ)る、連続する、つゞく
 壘 同上

頸 (項)くび
 頸 (子)井戸の釣瓶繩
 坑 穴、陥穴、陥殺する
 坑 人(ジン)人を苦しむる
 坑 魚(イシ)養魚池の魚

コ
 欄 置(シ)く、安定する、やめる
 欄 置(シ)く、安定する、安置する、容る、やめる(事を)
 欄 記(キ)念頭に置く、記憶を忘れざ
 欄 浅(セン)欄岸する、欄坐する(船の)
 欄 板(バン)欄、欄板
 欄 下(カ)置(シ)き得ざる、容る、能はざる、やめ能はざる
 欄 不(フ)住(ジュ)安定し得ざる、止め得ざる

割 切(キ)る、さく、切り離つ
 割 開(カイ)切(キ)る、切り離つ
 割 勢(セイ)去勢する、罌丸を切り取る
 割 捨(シヤ)分離する、棄つる
 哥 兄(ケイ)あにき、若者
 哥 兒(ニ)兄弟等、きょうだいた
 哥 嫂(シヤウ)兄(ケイ)あにき、兄分
 哥 嫂(シヤウ)兄(ケイ)あにき、兄分
 歌 嫂(シヤウ)兄(ケイ)あにき、兄分
 肱 腕(ウエ)肘の上部、腋に近き二の腕
 肱 腋(エツ)肘の上部、腋に近き二の腕
 肱 星(シヤウ)肘の下部、脇の下
 肱 窩(ウオ)肘の下部、脇の下
 肱 肘(チウ)腕部
 不 漏(ロウ)雨垂よけ

脛 同(トウ)上
 脛 膊(ボク)上膊部、ひぢ、二の腕
 疣 腫物、出来物
 疣 瘡(ソウ)できもの、小塊
 疣 癩(ラク)白癩、ばか
 戈(ゴ)ほこ、昔の武器
 鵠(コク)鳩、はこ
 格(カク)貝勒(前清の皇族)の妻
 格(カク)局(キョク)外観、みかけ、模様
 格(カク)字(ジ)紙、四角の罫線ある紙
 格(カク)礎(ソ)礎、ましがひ
 不(フ)住(ジュ)支(シ)へきれざる、押はき

隔 間(カク)隔(カク)つる、間隔ある、又音(チ)イ(エ)陽平
 隔 園(エン)意志の疎通せざる
 隔 教(キョウ)回数(モハメツト教)
 隔 壁(ヘイ)さなり、隣家
 隔 壁(ヘイ)戲(シ)八人藝、こぼいろの類
 隔 膜(マク)へだたり、邪魔物、さまた
 革(カク)あらたまる、改革する、革新す
 革(カク)職(シヤク)免職する、官職を奪ふこと
 革(カク)黨(トウ)革命黨
 革(カク)掉(テウ)しくじる(官職から)
 革(カク)退(テイ)免職する、やめさせる(職を)
 蛤(カク)はまぐり、又音(ハ)陽聲
 蛤(カク)子(シ)肉(ニク)はまぐりの肉
 蛤(カク)蠣(キ)はまぐり貝

コオ、哥、歌、肱、瘡、戈、鵠、格、不、隔、革、蛤

引 イ かぎはかす
 眼 エ 鞋 シ パチン止の靴
 銷 シ 棒を引く、帳消しする
 抹 モ 上塗りする
 臉 リ 顔を隈ぐる(役者など)
 當 タ 場合、際、折、時、状況
 尺 チ 曲りたる尺度(まがりかれ尺)
 情 チ 通ずる、情を通ずる
 帳 チ 帳簿を消す、棒をひく
 結 キ 結託する、ぐるになる、連累者となる
 除 チ 取消す、除き去る
 子 シ フホーク、ひっかけ
 通 ト 密通する、私通する、くつ
 留 リ 滞在する

鈎 コウ かぎ、ひつかける
 鈎 コウ 連環 リ 通ずる、くつつく
 鈎 コウ 止 チ さめる、ひつかけて止める
 鈎 コウ 住 チ 同上
 鈎 コウ 梯 チ かぎはしこ
 鈎 コウ 鑷 チ 鑷槍 鑷鎗
 鈎 コウ 栗 チ ぎんぐり
 鈎 コウ 碗 チ 電氣用碍子(がいす)
 鈎 コウ 通 チ 通じて用ふ
 拘 コウ 役 チ 拘留、留置する
 拘 コウ 手 チ 連累者
 溝 コウ みぞ、ごぶ、水渠
 溝 コウ 沿 チ 溝のふち、ごぶのへり
 狗 コウ 犬のこま

狗 コウ 事 シ 人に媚びへつらうこと
 狗 コウ 熊 チ くま、穴ぐま
 狗 コウ 血 チ 人を罵ること、人を罵り傷めること
 狗 コウ 蠅 チ 鬚子 チ ちよぼく鬚、疎
 狗 コウ 肺 チ 賤しき、奸悪なる
 狗 コウ 屁 チ しゃらくさい、べらぼう
 狗 コウ 腿 チ 役所の下役、錢の爲に動く小役人
 狗 コウ 洞 チ 犬くぐりの穴
 狗 コウ 豆 チ 犬、虱、だに
 苟 コウ 合 チ かりそめなる、いやしくも
 苟 コウ 合 チ さり入る、へつらふ
 苟 コウ 合 チ 足る、充分なる、十分に
 够 コウ 多 チ 同上
 够 コウ 多 チ 多麼 チ ほんなにか、如何程にか、非常にの意

够 コウ 多 チ 同上、北京の俗語
 够 コウ 多 チ 麼 チ 寛 チ 如何にも馬鹿々々しき限りならずやの意
 够 コウ 本 チ もさ價に足るといふ意
 够 コウ 用 チ 役に立つ、使はる、
 垢 コウ (活) チ あか、あかじみる
 搨 コウ 足 チ を爪立てて背伸びして手を伸ばす
 搨 コウ 搨 チ 兒 チ 搨をもぐ(手を伸ばし)
 搨 コウ 不 チ 著 チ 屈かざる
 搨 コウ 買 チ ふ、あがなう
 購 コウ 置 チ 買入る、買取る
 購 コウ 辦 チ 買ふ、仕入る、買入る、
 搨 コウ 指 チ 先にて搨む、搨む、爪ぐる
 搨 コウ 起 チ 來 チ 掲げ上ぐる
 搨 コウ 破 チ つきやぶる、突ついてやぶる

口 コウ 口 チ 港、長城の門、獸音類の年
 口 コウ 音 チ 發音のぐあひ、發音
 口 コウ 味 チ あじはひ(食物の)
 口 コウ 給 チ 口先ばかりの人、口先の旨い人
 口 コウ 小 チ 獸類の年若きこと
 口 コウ 袋 チ ふくろ、袋の總稱
 口 コウ 子 チ 港、海港、川の入口
 口 コウ 氣 チ 口ぶり、話模様
 口 コウ 角 チ 口論する、争論する
 口 コウ 才 チ 辯才、話しの上手なる
 口 コウ 輕 チ 味の淡泊なる、又獸類の年
 口 コウ 頭 チ あじはひ(食物の)
 口 コウ 頭 チ 語 チ 兒 チ 口くせに言ふ語
 口 コウ 頭 チ 話 チ 普通一般のはなし

叩 コウ 頭 チ 交 チ 口先丈けの交際
 叩 コウ 頭 チ 兒 チ 緊 チ 主張の強硬なる
 叩 コウ 北 チ 蒙古地(長城の北)言ふ意
 叩 コウ 面 チ 問口、表面口
 叩 コウ 薺 チ 蒙古産のきのこ、
 叩 コウ 號 チ 合圖、口笛にて合圖する暗號
 叩 コウ 話 チ 兒 チ 緊 チ 主張の強硬なる
 叩 コウ 糧 チ 糧食、食料
 叩 コウ 外 チ 蒙古、長城外の地方
 叩 コウ 謝 チ 謝する、鳴謝する
 叩 コウ 首 チ 叩頭する、おじぎする
 叩 コウ 請 チ 懇願する、願ふ
 叩 コウ 稟 チ 申上ぐる、言上する、願上ぐる

歸還 ホウケン かへす、元へかへす、償還する

規 コウイ 定規、規律ある、正しき

規矩 コウイ こま、規則

規模 モト 規模、みかけ、ありさま

規元 コウイ 上海の市場にて通用する銀

聞 コウイ ねや、婦人室、婦人のこと

聞女 コウイ 處女、生娘、きむすめ

聞かめ コウイ 破廉恥漢、娼妓の夫

龜孫 コウイ 人を罵る語

龜板 コウイ 龜の甲羅

圭 コウイ 標準、規範

圭泉 コウイ 太陽、日輪

鬼 コウイ 子 聰明なる

鬼工 コウイ 技術の精巧なることに喩ふ

鬼吹 コウイ 燈 虚言にて人をだます、人をへてんにかける

鬼頭 コウイ 非常に伶俐なる、並外れて聰明なる

鬼弊 コウイ 弊害、あしきこと

鬼話 コウイ つぶやく、ぐすく言ふ

鬼混 コウイ ふざける、馬鹿騒ぎする

鬼芋 コウイ 蒟蒻玉

鬼域 コウイ 物騒なる地方

詭詐 コウイ 欺く、いつはる

允 コウイ 姦邪なる、よこしま

癸 コウイ 水 月經、經水

貴 コウイ 貴き、高價なる

貴庚 コウイ 御年齢は？と問ふ語

貴幹 コウイ 御職業は？御用向は？など問ふ語

貴甲子 コウイ 御年齢は？と若き人に問ふ語

貴夥 コウイ 貴店の御手代

貴恙 コウイ 御病氣、御不快

櫃 コウイ 櫃(子) ひつ、はこ一切の稱

櫃款 コウイ 帳場の金、店の金

櫃上 コウイ 店頭、商店の帳場、賣場

櫃箱 コウイ 箱をこしらへる店

櫃房 コウイ 帳場、會計室

桂 コウイ 桂(子) 杖

桂帶 コウイ リボン

桂圓 コウイ 龍眼(果物の名)

桂月 コウイ 八月の異名

跪 コウイ 跪(下) ひざまづく、跪坐する

劊 コウイ 劊(子) 首斬り役のこと

焔 コウイ 乾燥したるものに濃厚の汁をかける料理法の一

瑰 コウイ 薔薇のこと

虧 コウイ 損する、欠ける、かくる

虧損 コウイ 損失を來すこと(營業など)

虧空 コウイ 良心に負くこと、心に恥づ

虧心 コウイ 良心に負くこと、心に恥づ

虧折 コウイ 損する、欠損

虧短 コウイ 損失する、欠損する不足

虧負 コウイ 良心に背く、悪い事をする

虧賠 コウイ 損失を來すこと、損する

魁 コウイ 首魁、かしら、頭首

魁手 コウイ かしら、頭目

窺 コウイ 視 のぞく、うかがふ

窺探 コウイ さぐる、探偵する

葵 コウイ 葵(花) あふひの花

揆 コウイ 度 はかる、推しはかる

揆席 コウイ 首席の官、總理、長官

傀 コウイ 人形、でく

饋 コウイ 贈り物、進物

喟 コウイ 嘆息する、太いきなつきてなげく

愧 コウイ 悔む、はづる、はぢくやむ

餽 コウイ 贈り物の食物

滾 コウイ 湯水の沸きたぎる、逃げる

滾開 コウイ 湯がわく、湯がたぎる

滾刀 コウイ 悪者、確でない奴、答に

滾肉 コウイ 肉 同上

滾毬 コウイ 湯たんぼ

滾拍 コウイ 拍子木

滾熱 コウイ 熱き、たぎりたる湯のあつきこと

棍 コウイ 棍(子) 棒

棍匪 コウイ 匪類、悪徒の群

昆 コウイ 昆(仲) 兄弟、きやうだい

昆曲 コウイ 正劇の一種、唱曲の一種

昆腔 コウイ 同上

坤 コウイ 地、つち、女性

坤戲 コウイ 女の劇

坤角 コウイ 女役者

坤起 コウイ 縛る、しばりあげる

捆 コウイ 起 縛る、ふんじぼる

捆綁 コウイ 同上

闕 コウイ 外 宮室以外、朝廷以外

困 コウイ 困(守) 苦守する、死守する

困晒 コウイ れむたき、眠氣

試 試みる、ためす、試験、試みに
試 探りを入れる
試 練 経験
市 市上、いちば
市 市口 市場、市場の入口
市 支拂手形(満洲地方に
市 行はる、)
市 道路の説、世間の風説
市 市場、市面
柿 乾柿、ほしかき
柿 乾柿の醗酵粉
柿 餅 乾柿
誓 願ふ、誓願する、願かけす
誓 願する、たま〜、丁度、適當
適 なる

適 今し方、丁度今
士 讀書人、士人、智識階級
仕 つかへる、官吏
仕 官吏と庶民、一般社會
仕 仕官者の名簿
逝 逝去する、死亡する
勢 いきほひ、勢力、ありさま
勢 頭 形勢、ありさま、旗色
勢 派 勢ひ、みかけ、狀況
勢 豪 有力者
勢 力 事大思想の人をいふ
室 夫人、妻
室 家 家庭
室 人 女房、妻、夫人

視 視る、視察する
視 綫 眼界、視界
式 式、かた、法則
式 様 形式、ひながた、様式
音 音に、單なる、たゞ
氏 姓氏
諡 おくりな、死後の名
沙 子 山鹽(山より掘りだす
沙 子 岩鹽の類)
沙 子 小きき梨の如き果物
沙 鍋 素焼の土鍋
沙 勺 瀬戸物の杓子、素焼の匙
沙 城 蒙古滿洲地方に在る不
沙 地 毛地の一種
沙 吊 子 土瓶、素焼の土瓶

沙 土 泥 沙土混りの泥(田地の)
沙 白 青白き、非常に白き
沙 瓢 兒 西瓜などの糖分多き美
沙 梨 山梨(酸味の多きもの)
砂 砂石、小砂利
砂 麻 石癩(癩病の一種)
紗 夏衣の材料となるもの、又紡績
紗 類をいふ
紗 廠 紡績工場
煞 厄、殺に通ず
煞 厄、衣服の仕立上りに仕つけす
煞 根 厄に遭ひさうな氣色
殺 ころす、殺害する
殺 死 殺す、害する
殺 退 退治する、撃退する

杉 すぎ(樹名)
杉 檜 杉丸太
杉 松 すぎ
煞 魚 さいめ、ふか
傻 痴呆(ばか)、愚なる
傻 笑 馬鹿笑すること
傻 説 馬鹿なことを言ふ、愚にも
説 つかぬことを言ふ
傻 子 馬鹿者、痴漢
傻 等 待ち損する、待ちぼけする
厦 大家屋のこと
霎 しばし、少時、暫時
霎 時 間 同上
列 刺す、はぐる
列 眼 穴をあける

篩 子 ふるひ、篩にかけること
篩 箕 ふるひ
攄 叩く、ごら叩く
醜 熱 あた、める、醜する
色 色又音ソオ(去聲)
骸 子 さいころ(賭博に用ふる)
晒 日にさらす、太陽の光線に
曬 あてること
曬 像 寫眞の焼付すること
曬 台 物干臺(ものほし)
曬 了 我、僕をだしぬいた
曬 陽 日向ぼっこをすること
稍 少し、少許、やゝ、わづか
稍 微 的 少しばかり、やゝ
燒 焼く、火を燃す、焚く

瞻(養) 養ふ、給養する、扶養する
 繕 つからふ、整へる、よくする
 繕 寫 清書する、よく書く
 繕 單 清書したる書類
 繕 就 作成する(文章などを)
 傷 時 時世を惡口すること
 傷 心 悲む、心のなげき
 傷 本 兒 資金を損する
 傷 和 氣 仲たがひする、不和
 傷 臉 面目を失ふ、顔をつぶす
 傷 商 業、商人、相談する、はかる
 傷 音 支那音韻學の語、舌音
 商 改 商議して改めること

商 股 商會社又は組合などの株
 商 界 又は出資分
 商 酌 商業界
 商 酌 相談する、酌議する
 商 同 相談する、協議する
 商 辦 相談して處理する
 商 夥 手代、番頭
 商 逢 賣店(臨時の性質を帯べる)
 商 量 さうだんする、商議する
 商 陸 山午旁(薬用に供する)
 商 論 相談する、會議する
 裳 もすそ、衣裳
 賞 賞 賞する、興ふる、くれる
 賞 格 懸賞すること
 賞 給 くれる、興ふる、つかはす

賞 錢 錢をくれる、祝儀などをく
 賞 飯 食事を食べさせてくれ
 賞 飯 吃ること
 賞 你 お前にくれる
 賞 臉 顔を立てる、面目を立つる
 响 午 昏するは北京の俗音
 响 飯 中飯、ひるめし
 响 錯 昏る、ひる過ぎ
 响 歪 同上、ひるさがり
 响 午 昏る、あがる、上等、か
 响 印 就任する
 响 午 午前、ひるまへ
 工 仕事を始め、仕事にか、
 工 卸 子、ホタンをかける
 上 下、前後、内外、くらゐ

上 税 課税する、徵税する
 上 税 單 課税書、徵税書
 上 學 學業に就く、入學する
 上 行 車 上り列車
 上 弦 れちをかける(時計など)
 上 漣 上流(水の)
 上 算 割にあふ、ひきあふ(商賣
 上 算 などの)
 上 憲 上官
 上 櫛 だまさる、べてんにか、
 上 盪 櫛(櫛)前同、せんだつて
 上 集 市場へゆくこと
 上 街 町へゆくこと、町へ出かけ
 上 船 船に乗る、上船する
 上 車 車に乗ること

上 屆 前期、前季
 上 京 上京する、北京に行く
 上 頭 上、上の方
 上 凍 凍る(水などが)こと
 上 次 前同、せんだつて
 上 房 奥の室、上段の室
 上 半 午前、ひるまへ
 上 風 頭 優越の地位、長き
 上 峰 上官、上司、上役
 上 不 上かられぬ、のぼられ
 上 不 去 上つてゆかれぬ
 上 賓 上客、正客
 上 邊 上の方、上部、上つら
 上 回 前同、さきに、せんだつて

上 火 のぼせる
 上 面 上つら、上部、上の面
 上 門 戸を閉める、門をしめる
 上 門 牙 上前齒
 上 洋 洋行する、又上海のこと
 上 月 先月、あさ月
 上 任 就任する(官吏などが)
 上 了 書を了る、本を閉じたり、本
 上 了 書を了る、本を閉じたり、本
 上 聯 對句の上の句をいふ
 上 尙 尙ぶ、なほ
 上 尙 尙書
 西 西、西の方、西洋
 西 西、西の方、西洋
 西 西、西の方、西洋
 西 照 西日、にしび

シイ希、稀、嬉、嬉、吸、照、夕、栖、晰、機、犀、習、惜、息、襲、錫、熄、媳、悉

西川 四川省のこま
 西點 西洋風の菓子
 西頭 西の端、西のはづれ
 西葫 蘆、冬瓜の一種
 西法 西洋法、洋法
 希 稀なる、珍らしき、非常に
 希窄 非常に狭きこま
 希罕 稀なるこま、めづらしき
 稀 稀なる、うすき(ねばりけなき)、
 稀 稀なる
 稀 仕事に身が入らざるこま
 稀 淡きものと濃きもの(糊な
 稀 飯) 水粥の類
 嬉 うれしがら、よるこぶ
 嬉笑 喜び笑ふ、うれしがら

嬉 よろこぶ、うれしがら
 吸 吸ふ、吸ひつく
 吸 磁石のこま
 吸 紙 インキを吸ひ取る紙
 照 日光、太陽のひかり
 夕方 晩、夜、おそき
 夕室 暗室、くらき室
 夕止 さまる、やすむ、やめる
 晰 明 明きらかなる、明晰なる
 晰 明けにへ、ぎせい
 犀 牛(獸の名)
 犀 習ふ、修める、練習する
 習 習ふ、修める、練習する
 習 修學する、學ぶ
 惜 惜しむ、惜き

惜 紙 反古紙を大切にすること
 惜 念 をしむ、心から惜むこま
 息 いき、やめる、やすむ
 息 利息、利子
 息 票 利札、利息札
 襲 受 うけつぐ、ひきうける
 錫 錫(金屬の)
 錫 紙 錫のながい(錫の薄くし
 錫 頭 錫器のこま
 熄 火などの消ぬる、やめる、
 熄 滅 やむ
 媳 嫁女のこと、女房
 悉 悉くす、知悉する、皆
 悉 全部の數、ありたけ

七三

悉 知 する、しりつくす、皆しる
 膝 ひざ(身體の)
 膝 下 子供のこま、膝元
 膝 子 むしろ、あんべらの類
 膝 棚 夏日熱氣を避ける日よけ
 席 座席、宴會
 席 面 席上、座上
 喜 喜ぶ、喜び、目出度き、このむ
 喜 愛 すく、このむ
 喜 信 喜びのしらせ、喜びこまの
 喜 神 惠方神
 喜 酒 祝酒、祝ひの宴會
 喜 詔 天子即位の詔勅
 喜 鵲 さぎ、かささぎ

喜 錢 祝儀(しうき)
 喜 子 蜘蛛の一種
 喜 封 祝儀、祝ひの贈りもの
 喜 歡 喜ぶ、うれしがら、よ
 喜 病 つわり(産前の)
 禧 喜ぶ、めでたき
 洗 洗ふ、事件の臭をつける
 洗 乾 浄、きれいに洗ふこま
 洗 三 小兒生後三日目の行水
 洗 手 手をあらふ、やめる
 洗 心 改心する、心を入れかへる
 洗 厨 洗ひ物をする場所
 洗 澡 湯に入るこま、行水
 洗 毛 羊毛の汚物を去る爲めに洗
 毛 ぶこま

洗 不 掉 洗つても落ちぬ、宛が
 洗 宛 宛を雪ぐ
 洗 宛 顔を洗ふ、洗面する
 洗 臉 顔を洗ふ、洗面する
 迄 今 日まで、今に至るまで、今
 迄 今 日まで、又音)チイ有氣
 徙 移 うつる、移轉する
 印 天子の印章
 細 細かなる、上等なる、くはしき、
 細 込 込み入りたる
 細 故 こまなくしたる理由
 細 狗 獵犬、訓練したる犬
 細 說 詳細に説明する
 細 水 長流 細く長くさいふ意
 細 針 絹針、細き針
 細 局 女郎屋、妓樓
 細 講 詳細に話すこま

(シイ膝、席、喜、禧、洗、迄、徙、襲、細

下場 試験場を出る、夏き結果
 下車 車から下りる、下車する
 下船 船からあがる、船から下りる
 下気 内気なる、温順なる
 下棋 将基をさす、圍碁を戦はす
 下欠 不足する、たりざる
 下床 寢床から出ること
 下鐘 一時、三時は「三下鐘」にふの類
 下家 買手
 下届 夏季、下半年
 下處 貸座敷、妓樓の一種
 下店 旅宿に泊る
 下地方 遊女なる
 下帖 書付を出す、招待状を出す

下走 拙者、わたくし
 下次 次回、このつき
 下作 賤しき行爲
 下葬 葬る、埋葬する
 下房 小使などの室、寢室
 下戸 住所を定める、下流民
 下回 次回、このつき
 下班 役所から退出すること
 下半天 午後、ひるすぎ
 下巴 額兒あこ
 下擺 すす(衣服の)
 下電 子 ひょうが降ること
 下筆 書き出す、書き始める
 下邊 下の方、下部

下不 下りられざる
 下不去 下りて行けぬ、相濟まぬ、申譯なき
 下不来 下りて来られぬ
 下票 手形を出す、合状を發する
 下飯 飯の菜、おかす
 下溜 飯的 墮落したる
 下藥 薬をくれる、薬をあてがふ
 下游 下流(水の)
 下餘 餘り、剩餘、殘餘
 下落 行衛、おちつき先
 下聯 對句の下の句
 下水 泥水へ落ちる(女)
 夏(天) なつ、夏日
 夏正 舊曆

得

夏月 六月の異名
 夏曆 舊曆
 唬 びつくりすること
 嚇 同上
 嚇死 死ぬ程に驚くこと
 嚇了 了す
 嚇喝 おどかす、おどろかす
 嚇黃 了す 驚ろいて色が變つた
 嚇病 了す 病氣になつた
 嚇跑 了す おどかして逃がす
 嚇了 了す おどかして逃げ上つた
 嚇一 跳 たさふこと
 嚇(話) 虚言、うそ、出たらは
 消氣 消す、消化する、ひく
 消氣 氣をおちつける

消腫 腫れがひく(腫物の)
 消停 おちつくこと
 消肉 腐りたる肉
 銷案 消す、消に通する場合多し
 銷案 事件の結了する、事件を取
 銷數 賣行數、捌ける數
 銷差 復命する、任務を了へる
 銷場 ばけ口、消費地、販路
 銷鎔 ころかす、鎔解する
 銷路 販路(商品の)
 削削 削る、むく、さる
 削皮 皮をむく
 硝強 硝石
 硝強 硝酸

硝皮 皮をなめす(各種の獸皮を)
 硝磺 硝石
 霄(漢) 天、そら
 霄小 小賊、小人
 曉(勇) 勇氣の壯なる
 逍 逍遙すること
 逍遣 氣樂に遊び居ること
 逍遙 同上
 逍遙椅 安樂椅子
 梟(首) 首をさらすこと
 梟腹 空虚になること
 梟腹 空腹になる、ひもじき
 梟薄 稀薄なる、うすき
 蕭 しめやかなる、さびしき

(シイア嘘、嚇、諱)(シイア消、銷、削、硝、霄、曉、逍、梟、榜、蕭)

蕭索 さびしき、不景氣なる
 蕭閒 不景氣なる、さびしくしづかなる
 學 稽古する、又音(シユエ)
 學 惡事を働く、惡事をおぼへる
 學 言はれた通りに話す
 學 商賣を見習ふこと
 學 手わざを習ふこと
 學 習はる、おぼはらる
 學 習つてしまつた、學び
 學 了りたり、修得せり
 學 教の見たなき
 學 學びて會得したる
 學 少なき、若き
 小兒王 小供の教師、餓鬼大將
 小兒 人を見くたす、輕蔑し
 小兒 人を見ること

小口 獸類の年小なるを言ふ
 小恭 小便のこと、小用
 小可 私、僕、やつがれ
 小工 手傳人夫、雜役夫
 小衫 肌襦袢、しやつ類
 小生 流産すること
 小手 吝嗇なる、けち臭きこと
 小叔 夫の弟、小じう
 小厮 小もの、召使人など
 小心 注意する、氣をつけること
 小性 兒、小心なる
 小星 妾、めかけ
 小要 ふざける、なぶる
 小史 傳記、經歷

小响 吉林省の土地湖景尺(一畝百八十八号)
 小旦 役者の一種
 小器 量筒の狭き人
 小産 流産すること
 小氣 賤しき性質
 小姐 姫、嬢、上流の娘をいふ
 小价 小もの、召使、僕
 小金 蓮、美人の形容
 小丑 小兒役(芝居役者の一種)
 小畜 人を罵るに用ふる口惡
 小曲 俗歌、小唄
 小處 下品なる處
 小的 私(上長に對して用ふる)
 小點 點的 極めて小さきこと

小崽子 人を罵るに用ふる惡口
 小子 男の小兒
 小祖 宗兒 後つぎの小兒
 小走 私、下拙
 小皆 眼尻、めじり
 小帖 兒 生年月を認めたる書付
 小偷 兒 すり、小盗人
 小腿 こむら(足の)
 小班 藝者屋、一等妓樓
 不點 點的 極めて小(さき)いふ
 小呢 毛織物、セルなどの稱
 小娘子 愚妻(謙稱)
 小女人 妾、又は自分妻をいふ
 小擺設 兒 床の置物、飾物

小婆 妾、又自分の妻をいふ
 小費 手数料
 小報 小形の言文一致新聞紙
 小慧 猪口方、こさかしき
 小偏 妾、めかけ
 小臉 美少年のこと
 小買 賣 小商人、又人を罷る語
 小毛 賊 こそく泥棒、小賊
 小粟 粟(あわ)
 小米 粟がら(粟稈)
 小名 出生後母の與ふる名
 小摸 手 ひ
 小押 小さな質店
 小月 流産、月足らずの小兒

小爐 匠 鑄かけ屋(主として町廻りの)
 小路 貨 盜品、不正品
 小掠 (給)すり(拘摸)
 曉事 わかる、あかるき、通曉すること
 曉得 事理に通すること
 孝衣 孝行、又喪服
 孝敬 喪服を着ける
 孝服 贈物などするに用ふる語
 笑嘻 わらふ、嘲る、侮る
 笑哈 くすくす笑ふ
 笑話 大笑する、アハ、こ笑
 笑人 人を笑ふ、人を嘲る

向シイア さまに、従前、向ふ
 向年ニエン 先年、従前
 向陽ニヤウ 日なた、南向き
 向隅ニヨク 不平をこぼす
 向來ライ 従来、これまで、今迄
 向例リ 以前のしきたり、前例
 向日コウイ 葵、日まはり花
 像シイア 似たる、似る、かたち
 像姑カゲマ かげま(色男)
 像似ニ 似よりたる、似たる
 像篇シイア 兒 寫眞のこま
 象奴スウ 象飼人
 巷シイア 小町、小路、横町、ろじ

巷口コウ 小路の入口
 巷道タウ 小路、横町
 橡シイア 樹の名
 橡皮條ビイ ゴム管(一切の)
 橡皮輪ビイ ゴム輪(車などに用ふ)
 歇シイエ やすむ、やめる、中止する
 歇業エエ 休業する、營業を止める
 歇工コウ 仕事をやめる
 歇手シイ 手をやめる
 歇息シイ 休息する、やすむ、やめる
 歇枝チ 果樹の休み年
 歇頂テイ 禿頭となる、頭が禿げる
 歇備ビ 解備する、解雇する
 蝸シイエ (子) かつ(毒虫の名)

蝸刺ツ かつの針(毒を送る)
 蝸虎ホウ 子 やもり
 些シイエ わづか、少し、少許、いささか
 些微シイエ 僅かばかり、すこし、ちつ
 些須シイエ しばらく、少しの間
 楔シイエ (子) くさび、型(かた)
 斜シイエ なめなる、はす
 斜紋布ウエン 織物の一種、うれ織物
 斜眼シイエ やぶにらみ、すが目
 斜對過兒シイエ 筋向ひ
 鞋シイエ くつ、短靴
 鞋葉拔シイエ 靴を抜く靴
 鞋楦シイエ 靴型(くつかた)
 鞋拔子シイエ 靴篋(へら)

鞋幫子バシ 靴の胴腹の部分
 鞋後跟ホウケン 靴のかかと
 鞋臉シイエ 靴の鼻先
 協濟シイエ 協力する、協和する
 協濟シイエ 協力して救済する
 協理シイエ 副支配人
 邪シイエ 邪なる、よこしま
 邪味シイエ 悪臭、いやな臭氣
 邪氣シイエ 災難、悪氣
 邪地方シイエ 悪い場所、悪所
 邪病シイエ てんかん(病)
 携シイエ たづさへる、携帯する
 携眷シイエ 家族を携帯する
 携男女シイエ 家族を伴ふこま

携領シイエ 持つ、手に持つ
 挾シイエ はさむ、又音)チイア
 挾制シイエ 撃肘する、こぼみおさへる
 挾仇シイエ 仇敵さする、仇さする
 挾帶シイエ 隠して携帯すること
 脇帶シイエ 脇骨、かたぼね
 諧シイエ (聲) 聲音をあはせる、音韻を同
 諧シイエ (字) 書く(字を)、寫す
 寫シイエ 其意味を取りて書くこと
 寫意シイエ 芝居見物の約束を書きさめ
 寫戲シイエ ること
 寫心シイエ 心に思ふことを書く
 寫信シイエ 手紙を書く、通信を認むる
 寫船シイエ 船の雇入を約定すること
 寫你シイエ 君の名を書留めておく(約束して)

寫眞シイエ 肖像を畫くこと
 血シイエ ち、血液又)シユエ去聲
 血虧シイエ 貧血する、血不足する
 血氣シイエ 俠氣、義氣
 血心シイエ 眞心、まごころ、丹心、赤
 血筋シイエ 神経、血管、動脈
 血誠シイエ まごころ
 血道シイエ 血の道、婦人病
 血癆シイエ 咯血する病、肺結核
 血枯シイエ 枯れること
 謝シイエ 醫師への謝金
 謝世シイエ 死亡、死去すること
 謝有シイエ 有がたう御座います
 謝步シイエ 訪問を受けたる返禮

險 要害、(うがいの地)
 顯 あらはるゝ、あきらかになる、
 顯 考、父、先父
 顯 形 現像する(寫眞の乾板を)
 顯 けんする、呈する、差上る
 獻 越年すること
 獻 演する(技藝を祭る)
 獻 祭る、祭祀を行ふこと
 線(綫) 祭る、糸の如き細きもの、
 線 木綿糸
 線 間隙、隙者
 線 手引きする、聯絡をこころ、
 線 手が、りこなる
 線 針金、細き金線
 線 銃の照尺
 線 板 糸巻、いこまき

線 歩 縫目、ぬひめ(針の)
 線 麻 滿洲産の麻
 線 襪 メリヤスの靴下
 線 縷 細き糸、糸すじ
 現 現在、いま、あらはるゝ、あ
 現 眼 面汚しとなること
 現 現款 現金、げんきん
 現 現成 同上
 現 現貨 あり荷、現在品
 現 現盤 現物相場(錢銀などの相場)
 陷 相場用語
 陷 馬坑 おさしあな、陷弊

縣 行政區劃の稱
 縣 城 縣廳の所在地をいふ
 縣 尊 縣知事のこと(敬稱)
 縣 父母 同上
 羨(慕) うらやむ、羨望する
 憲 官憲、おきて、法律
 憲 書 曆書、こよひ
 憲 台 上長の官、貴官
 限 期限、期日、制限
 限 制 制限、せいげん
 限 期 期日、期日を定むること
 限 内 期限内、期日までの間
 限 量 限度、際限、底度
 館(子) あん(饅頭などの中に入るもの、總稱)

蒐(菜) はうれんさう
 修 修むる、修練する、習ふ、修築
 修 蓋 建築する(建物類を)
 修 改 手入れする、なほす
 修 眞 道教の教旨を修する
 修 整 修整する、手入れてして整然
 修 函 手紙を認むる、通信を書く
 休 やめる、中止する
 休 問 問ふ勿れの意
 休 書 離別狀、離婚の證書
 休 妻 妻を離別する
 休 提 言ふ勿れの意
 羞 はつかしき、羞ち入ること
 羞 澁 滑らかならざる、澁滯

羞 花 花も羞らう美しき
 脩(金) 月謝、師に送る謝金
 饒 食物、食事、馳走
 宿 古き、日を隔てたる、又陰平又
 宿 音スウ陽平
 宿 食 食もたれする
 宿 債 舊債務
 宿 娼 常習淫賣婦のこと
 秀 秀でたる、立派なる
 秀 氣 立派なる、美しき
 繡 縫取りする、亂るゝ、もつゝ、
 繡 同上
 繡 閣 婦人の室
 繡 鞋 婦人の靴
 繡 毬 紫陽花(あじさい)

綉 匠 ぬい宿師のこと
 綉 房 婦人室、女部屋
 綉 女 處女、美しき娘
 袖 そで(衣服の)
 袖 占 手にて卜ふこと
 袖 褌 衣服の袖にあるポケットト
 袖 頭 兒 袖頭の折返したる部分
 綉 鋪 さいび、金物の鏤ること
 宣 宣言する、言ふ、又謎を解く
 宣 昂 氣高き、上品なる
 宣 洩 世間に洩るゝ、ひろがる
 宣 講 講話する、講説する
 喧 やかましき、かまびすしき
 喧 吵 やかましき、がやく騒

喧 嘈ツオぐづぐづやかましきこと
 喧 鬧ナオやかましく騒ぎたてること
 喧 嘩フエ口にてがやくこやかましきこと
 誼 言シウアンふ、宣傳する
 誼 出チエ來 誼傳シウアンさる、
 誼 讀トウ音讀する、聲を出して讀む
 軒 讀シウアンのき、建物の稱
 懸 空シウアンかける、かゝる
 懸 心シウアン心にかゝる、心配すること
 懸 起シウアン來 かくる、引かける
 懸 燈シウアン結 彩 祝ひ事などの飾り
 懸 羊シウアンなまけ者のこと
 旋 めぐる、かへる、つゞいて

旋 窩ウオうづまき(水の)
 旋 文ウエン唐草模様の一種
 旋 京チン歸京する、北京にかへる
 旋 風フオンつむじ風、まはり風
 旋 花ホフ日廻花、ひまはり花
 旋 標ロオ獨樂(こま)
 眩 目シウアン目がまはる、まぶしき
 眩 花ホフ目のかすみ
 癩 瘡シウアンひぜん(病)
 癩 瘡チチ同上
 選 士シウアン採用試験、登用試験
 偵 察シウアン靴型(木にて作れるかた)
 鐵 床シウアン同上
 鐵 床シウアンるくる盤

虛 空シウイなる、内容なき、うそ
 虛 文ウエン虚飾、かさり
 虛 說シウイ假設の、架空
 虛 腫チウむくみ(身體の)
 虛 假チウ架空なる、そらごと、うそ
 虛 契チウ偽證書、偽證
 虛 架チウ子 見はる、體裁ばかり
 虛 套チウ内容なき空事、虚の文句
 虛 面チウからせじ、見はる
 虛 子チウほらふき、うそつき
 虛 費チウ無駄な費用
 虛 浮チウ浮華、上べをかざる
 須 得シウイ必らず...せざる可らずの意

須 當タシ當然...すべき、...すべし
 須 要ヤウ...するを要す、せよ
 恤 憐シウイめぐる、あはれむ、救恤す
 鬚 髻シウイひげ、鼻下のひげ
 鬚 梳シウイひげをすく小櫛
 蓄 養シウイ養ふ、家畜などを飼養する
 戌 時シウイいぬ(十二支の)、守る
 戌 月シウイ午後七時より同九時の間
 戌 月シウイ九月の異名
 需 要シウイ需要、いりよう
 嘘 吹シウイく、口にて吹くこと
 嘘 人シウイ吹くこと、空気の人體に感ずること
 胥 吏シウイ下役人、小役人、下級の官吏
 徐 徐シウイもむろに

許 許シウイ許す、或は、多分
 許 下シウイ許す、許可する
 許 信シウイ或は信ずる
 許 久シウイ久しき間、稍久しく
 許 願シウイ祈願する、祈願の禮
 叙 叙シウイ叙する、述ぶる
 叙 授シウイ叙任する
 叙 談シウイ物語りする、談話する
 叙 寒シウイ寒暑の挨拶をする
 叙 話シウイ物語りする、話す
 緒 緒シウイいさぐち、小口
 續 續シウイつゞく、つゞける
 續 款シウイ追加金、證據金の追加(取引所の用語)
 續 絃シウイ後妻、後妻を娶ること

續 約シウイ附帶條約、附屬契約
 絮 絮シウイわた、ふるわた、くゞくしき
 絮 叨シウイくゞくしき、うるさき
 絮 煩シウイくゞくしき、むづかしき
 婿 婿シウイむこ、女婿
 婿 家シウイ外孫、外甥など
 序 順シウイ順序
 序 齒シウイ年長者、長老
 郵 典シウイ救郵する、めぐむ
 熏 熏シウイいぶる、くすぶる
 熏 死シウイ窒息して死すること
 熏 透シウイ了(名聲の落ちたる場合などないふ)
 薰 藥シウイ覽睡薬のこと
 薰 薰シウイかゝる(香氣の)

熟銅 精練したる銅
 熟飯 よく煮いたる飯
 熟人 知り人、なじみの人
 手、腕前
 手藝 手藝、手わざ
 手印 手のあま、拇印
 手眼 手のくるぶし
 手紋 手すじ、手の筋紋
 手桿 子 手くびのこま
 手根 ステツキ、杖
 手鈎 ぼたん、カフスぼたん
 手拐 ステツキ、杖
 手困 貧窮なる、手元不如意

手心 手のひら
 手鬆 金費ひにしまりなき、金を
 手に 持てば浪費する
 手病 除名醫を形容したる
 手套 手ぶくる
 手槍 ビストル
 手紙 きよめ紙、鼻紙
 手鐘 呼鈴、ベル
 手爪 爪、つめ
 手抄 うつす(文書など)
 手屈 たこ(手足に出来る)
 手脚 手踊りのこま
 手巧 巧者なる、器用なる、上手
 手節 手の關節、手の曲り目
 手執 もつ(手に)

手巾 手拭(てぬぐひ)
 手彩 手品(てじな)
 手頭 兒素 不如意なるこま
 手頭 兒素 手元が不如意なる
 手足 兄弟のこま
 手鑽 ホート錐、大錐
 手法 てなみ、腕前、手腕
 手表 腕巻時計
 手帕 てぬぐひ、手巾
 手不 穩るこま
 手摸 拇印、てがた
 手首 くび、はじめ、かしら
 自首 自首する
 首先 まつさき、一番はじめ、先に

首縣 首位に居る縣(縣の内にて
 第一位なるもの)
 首事 人 發起する人、事を始む
 首飾 婦人の飾身具をいふ
 首戸 戸長、一郷の重立ち人
 守 守る、守備する
 守夜 夜番するこま、夜廻りする
 守更 同上
 守寡 寡婦の節操を守るこま
 守水 洪水の見張番するこま
 守歲 除夜、年越し
 守貞 貞 處女のこま
 守把 守る、守備する
 守不 住 守りきれざる
 守活 寡 夫と別れて空閑を守る

守晚 夜あかしする
 受 受くる、受入る、被むる
 受委 屈 種を受くるこま、不平の
 受業 學業を授けらるゝ
 受看 見ばけのある
 受款 人 金圓受取人
 受管 引うける、擔任する
 受暑 あつさあたり、暑氣あたり
 受室 妻をめとるこま
 受氣 屈辱を忍ぶ、屈辱を受くる
 受屈 同上
 受驚 驚くこま、吃驚する
 受吃 食べられる(旨い、こま)
 受典 質をとる、質に取る

受聽 聞くに堪へたるこま
 受罪 失敗する
 受凍 凍へる、凍る
 受寒 寒氣にあてられる、感冒
 受喝 飲むこまの出来る、口あた
 受票 人 手形名宛人
 受病 病氣になる
 受不 住 たまらぬ、堪へられぬ
 受賣 口よき、賣れ行のよ
 受寬 無實の濡衣を着せらるゝ
 受用 役に立つ、用處のある
 受愚 ばかにさるゝ
 受累 心配する
 受熱 熱さあたり、暑氣あたり

生 菜(野菜の名)、青物
 生 財 富むこと、財をつくる
 生 花 善感(種痘などの)
 生 火 火をたくこと、火をおこす
 生 平 平生、ふだん、常に
 生 面 面識なき、初めて會ふこと
 生 愚 氣(くさくさ)する、退屈す
 生 日 誕生日のこと
 生 人 面識なき人のこと
 聲 ころゑ、聲、音
 聲 音 尖 怒り聲、ごなる聲
 聲 聞 ひやうばん、名聲
 聲 勢 勢力、外見の勢力
 聲 説 言ふ、聲言する

聲 稱 申立、申てる
 聲 張 言ひふらす
 聲 氣 世評、ひやうばん
 聲 浪 世間の評判
 升 浪 世間の評判
 升 課(科) 土地に課税すること
 升 選 死去すること
 陞 冠 進む、上昇する
 陞 冠 かわり物をさる
 陞 官 圖 双六の一種
 甥 兒(甥) 姉妹の子
 甥 孫 嫁入りたる娘の兒
 甥 女 めい(姪)、姉妹の娘
 牲(口) 獸畜、家畜(牛馬驢の類)

牲 畜 同上
 筥(管) 鳴物のしやう、樂器
 昇(平) 昇る、昇平、太平
 繩 かわ、紐の類
 繩 工 測量夫
 繩 墨 すみなわ、定規紐
 省 行政區の省、はぶく、はぶける
 省 細 儉約、つましき節約すること
 省 事 手数の省けること、面倒な
 省 心 安心する
 省 下 はぶく、略す
 省 城 一省の首府をいふ
 省 錢 錢を儉約する

省 分 省(行政區劃の)、各省
 省 會 一省の首都
 省 辦 各省行政官廳の取扱ふべき
 省 油 燈 馬鹿正直に柔和なる人
 盛 盛 盛んなる、盛大なる、又音チヨ
 盛 誼 御厚意、御厚誼
 盛 設 御馳走(他人に對して)
 省 情 御親切、御厚情の意
 聖 聖 人、神聖なる
 聖 教 孔子の教
 聖 廟 孔子廟
 剩 剩 下 あり、のこり、剩餘
 剩 下 あり、のこり、剩餘
 剩 錢 錢をのこす、錢が餘る

勝 勝 勝る、堪ふる、勝つ
 勝 手 チヤンピオン
 勝 似 ……よりも勝れたる
 勝 仗 勝ち
 勝 任 其任務に堪ふること
 書 書籍、書類、文字
 書 案 子 本机、讀書桌
 書 頁 本のページ
 書 口 書籍の小口
 書 館 藝者屋、歌を唄ふ所
 書 櫃 本箱、書籍箱
 書 櫃 本箱、書籍箱
 書 生 私、小生、僕
 書 手 書記、筆生、かきて

書 香 人 學者、儒者
 書 猷 子 迂學者、腐儒
 書 單 子 書籍目録
 書 差 書記、書記役
 書 廠 大道の講釋場
 書 鎮 ぶんちん
 書 啓 先生 文書を掌る相談役
 書 房 書齋、學問室
 書 封 封筒、ふうとう
 書 辦 書記、かきやく
 書 班 同上
 書 包 本を入れる、鞆(かばん)
 書 皮 書籍の表紙
 書 面 書籍の表紙

水 賊 海賊
 水 電 廠 水力電氣の發電所
 水 靛 藍靛の一種
 水 土 不 服 土地の風土に慣れ
 水 燉 兒 湯こる (鍋をかけて
 水 頭 水氣(みづけ)
 水 斗 子 水汲籠、水を汲み出す
 水 泥 船 鐵筋コンクリート船
 水 旱 水災と旱害
 水 痕 さざなみ、小波
 水 盒 水入(文房具の)
 水 火 壺 湯沸し壺
 水 火 會 消防組合をいふ
 水 紅 淡桃色、紅梅色

水 戸 妓樓、お茶屋
 水 牌 商店の覺の書き板
 水 牌 上の 未決定の事をいふ
 水 髓 子 ひる(蛭)
 水 盆 たらひ(各種の洗濯器)
 水 瓢 水汲み杓子に用ふる瓢
 水 猫 かはうそ
 水 墨 畫 墨繪、淡墨の畫
 水 磨 磚 磨き練瓦(つやあるも
 水 木 兩 作 陸上の建築物及び
 水 綿 海綿、スポンジ
 水 玉 水晶
 水 力 船の運賃
 水 簾 あらき簾、組簾

水 龍 社 消防組合
 水 龍 頭 水道の水栓口
 水 落 石 出 相があらはる、こ
 水 禮 食品などの贈物をいふ
 水 月 電 燈 アーク燈
 水 稅 金、租稅
 稅 務 司 支那稅關の長(各關に
 稅 餉 稅糧、稅金
 稅 單 徵稅令書
 稅 契 徵稅書、徵稅證
 睡 覺 ぬむる、睡眠
 睡 香 甜 ぬむる、ぬむる、う
 睡 醒 目がさめる、眠りよりさむ
 睡 响 覺 午睡(ひるれ)する

睡 沉 ぬむる、熟睡する
 睡 覺 ぬむる、寢る
 睡 早 覺 朝寢坊するこ
 睡 不 著 ぬむる、眠られざ
 睡 瑞 國 瑞典國、又音ロイ
 睡 純 一なる、まざりなき、チユ
 睡 純 陽平有氣音
 睡 素 眞白なる、純白の
 睡 醇 酒 眞白なる、純白の
 睡 順 したがふ、そふ、ついで
 睡 順 眼 口から出任せにしやべ
 睡 順 口 説 口から出任せにしやべ
 睡 順 手 説 口から出任せにしやべ
 睡 順 當 都合よき、好都合なる
 睡 順 情 媚びる、人の言に雷同する

順 氣 丸 氣を落着かす藥
 順 便 ついでに、便宜上
 順 利 順調なる、事が都合よく運
 順 言 言ふ、話す、説明する
 順 開 言ひわけする、説明する
 順 客 話相手、話の上手なる人
 順 書 的 講釋師、軍談語り
 順 事 人 中人、仲立人、仲裁者
 順 媳 婦 嫁の相談をする、婚姻
 順 像 聲 的 こはいろ使ひ
 順 笑 談 談笑する、面白げに話す
 順 道 言 言ふ、語る、話す
 順 到 言 言ふ、語り及ぶ
 順 家 口 妻を娶る

說 起 來 話し始める、説き出す
 說 長 短 彼はと批評する
 說 知 知らせる、話してきかす
 說 情 情願する、心中を語る
 說 錯 言ひまちがふ、話しちがひ
 說 走 就 行けと言へば行く
 說 走 就 言ひなり放題にな
 說 帖 兒 口上書き、覺書
 說 透 了 徹底的に話す
 說 好 仲 なほりする、説きまめ
 說 翻 口 論になる
 說 譜 兒 理屈ばかりをひれくる
 說 活 言 言ひ直す、訂正の餘地ある
 說 片 言 言ひ直す、訂正の餘地ある
 說 白 了 言ひまぢがふ、出たらめな
 說 白 了 言ふ

星 期 六 土曜日
 星 期 報 月曜日に發刊する新聞
 星 期 日 日曜日
 興 お、す、おきる、又去聲
 興 始めてする、はじめ
 興 工事を始める、仕事をほじ
 興 修繕を加へる
 興 時の流行、はやり
 興 盛んなる、隆盛なる
 興 味 なまぐさき、腥氣
 腥 味 なまぐさき、腐れくさき
 腥 腥 なまぐさき
 腥 腥 しゃうく
 馨 馨 芳香、かほり、よきにほひ

行 行ふ、する、行爲、可なる
 行 行 醫 業に從事する
 行 行 文 文章を作ること
 行 行 省 行政區の省、各省
 行 行 銷 賣 賣捌く、賣捌ける、はける
 行 行 許 許可する、ゆるす
 行 行 香 參詣する、燒香する
 行 行 台 大官の宿所
 行 行 止 おこない、行爲
 行 行 刺 暗殺する、刺客なる
 行 行 貨 行商する、大口の品、劣等
 行 行 不 行 可なるや否や、宜しき
 行 行 不 行 可なるや否や、徹底せざ
 行 行 房 交際する、肉交する、性交

行 行 轅 官吏の旅館
 行 行 院 妓樓、青樓、貸座敷
 行 行 樂 圖 遊び樂しめる繪卷物
 行 行 李 荷物、貨物、こもり
 刑 刑 罰 刑罰、刑法
 刑 刑 問 拷問する、訊問する
 刑 刑 席 官廳の刑事法の相談役
 形 形 跡 形跡、あまた
 形 形 頭 役者の裝束、芝居の衣裳
 形 形 樣 外形、かたち
 省 省 察 省察する、かへりみる
 省 省 親 歸省する、親の許へかへる

醒 氣付薬、寤睡劑
 擗 擗 鼻をかむ
 性 性質、性、氣質
 性 傲 氣のおこれる、傲慢なる
 性 命 生命、いのち
 興 興 頭 きようみ、面白み、又陽平
 幸 幸 幸ひ、幸福、しあはせよき
 幸 幸 幸ひにして、折よく
 幸 幸 幸ひに、幸ひにして
 姓 姓 姓名
 姓 姓 家系、系譜
 杏 杏 兒 あんす
 杏 杏 乾 ほしあんす
 杏 杏 黃 琥珀色、棗色に似たる色

杏 月 二月の異稱
 私 私 公許を得ざる貨物、秘密品
 私 私 話 内証話、秘密の話
 私 私 帖 個人が私鑄する錢
 私 私 錢 一種の紙幣
 私 私 子 商店が任意に發行する
 私 私 逃 かけおちする
 私 私 下 かけおちする
 私 私 識 私通する、くつつく
 私 私 鹽 官の賣買する以外の鹽（密
 私 私 印 秘密出版する
 私 私 意 私見
 私 私 意 私見

私 私 餅 私通する、野合する、くつつく、密通する
 私 私 孩 子 私生兒、て、なしこ
 私 私 思 思ふ、かんがへる
 私 私 思 愛する、好く、可愛がる、惚れる
 私 私 司 司 司る、事を管掌する人
 私 私 司 司 局課（官廳の）
 私 私 司 司 絹糸、きぬいと、生糸
 私 私 絲 絲 入 片端から整理する
 私 私 絲 絲 線 糸の總稱
 私 私 絲 絲 釘 小鉄、鉄釘
 私 私 絲 絲 條 子 いさひも
 私 私 絲 絲 呢 絹セルの類
 私 私 厮 厮 小者、召使、下僕、奴

ソウイン筍、単、ソウ搜、餽、鷹、叟、擻、漱、ソオ色、澁、齋、ソジ僧、松、鬆、
一一四

損徳 堂 人に迷惑ばかりなかけ
て居る者のこと

筍(筍) たけのこ、
雞 雛雞、ひなぎり

隼 はやぶさ、小鷹

搜 捜す、捜索する、たづねる

搜 誅求する、しほりこる

搜 捜索する、さがす

搜 捜索して捕縛する

餽(飯) 食物の腐敗せる、飯又は食
物のすいたる

餽 味の臭き、腐れ臭き

餽 陳腐な話

餽 風の音、さわく、ごうく

叟 老人、老翁

擻 ふるふ、ゆすぶる

漱(口) 口をそぐ

漱 酒をしたむこと

色 いろ、又音シアイ上聲

色 米國旗

色 色情狂、助平(すけべい)

色 生殖器神經衰弱症

澁 しぶき、しぶる

澁 歯が浮く(酸味などの
爲)

澁 しぶりは(病)

澁 收斂藥、收縮劑

齋(刻) 各齋なる、けちなる

僧 僧侶、坊主

僧 袈裟、ろも

僧 僧侶、出家、坊主

僧 帽 ルーテサツク

松 まつ(樹の名)

松 松やに

松 松かさ(松の實)

松 松かさ(松の實)

松 湯 鶏肉の叩きを入れたる汁

松 子 松かさ(松の實)

松 花 卵を土中に醗漬したる
もの(浙江省松花の名
産なり)

松 油 松やに

鬆 ゆるき、しまりなき、ゆるむ

鬆 快 身體のさつぱりしたる

鬆 懈 なまける、おこたる

鬆 手 手をゆるめる

鬆 心的事 心をゆるめる

鬆 緊帯 ゴム紐

鬆動 金融などの緩慢なること

鬆通 餘裕ある、のびやかなる

鬆郷 放免する、細をゆるめる

疎(縮) すくむ、ちぢみあがる

疎動 ふるふる

聳(聳) そびへる、そびたつ、そびやか
す、そびたてる

送 送る、贈る、遣はす、くれる

送 役所へ送りつける

送 鬼的 悪魔拂ひをする巫者

送 會葬する、送葬する

送 手紙をやる、通信すること

送 旅行を送る、見送りする

送 恩に着せる

送 臨終に立あふ、死目にあふ

送 親 親連 婚姻當日の附添男

送 親 親太 同上の婦人連

送 子 娘 同上

送 殯 殯會葬者、送葬者

送 禮 進物を贈る

誦 誦よむ、誦する、音讀する

訟 訴訟、訴へ事

訟 棍 三百代言、くじ師

訟 師 訴訟代理人、くじ師

頌(讀) 頌する、ほむる

宋(朝) 宋朝(西紀九百六十年—
千二百七十九年)

宋 磁 宋朝に焼きたる陶器

答 答へ、答ふる、返辭

答 應 同上

答 賽 神佛へ願掛けの御禮参りを
すること

答 誦 ぶやく、ごまをいふ

搭 加へる、乗る

搭 上 加へる、添へる、増す

搭 識 男女が出来あふ、くつ

搭 誦 ことごとく話する

搭 手 兼業にする、本業の片手間

搭 子 二人で擔ぐ大箱をいふ

搭 界 境界、境界を劃す

搭 放 補足して支給すること

搭 鋪 床板を張ること

搭 配 交尾する、つるむ

ソジ疎、聳、送、誦、訟、頌、宋
タア答、搭
一一五

大建チイエンシイアオチイエン 大の月小の月(三十日二十)
 小建チイエンシイアオチイエン 九日の舊曆(一昨日)
 大前チイエンシイアオチイエン 日チイエンシイアオチイエン
 大照チイエンシイアオチイエン 滿洲に行はる、地券の一種
 大解チイエンシイアオチイエン 大便すること
 大毘チイエンシイアオチイエン 毛織の長外套、ロングコート
 大芝チイエンシイアオチイエン 麻チイエンシイアオチイエン ホツクス皮(靴に用ふ)
 大角チイエンシイアオチイエン 色チイエンシイアオチイエン 座元、地位の高い人
 大醬チイエンシイアオチイエン 醬油のたれ
 大青チイエンシイアオチイエン 藤紫色
 大舅チイエンシイアオチイエン 子チイエンシイアオチイエン 妻の兄、義兄
 大主チイエンシイアオチイエン 筆チイエンシイアオチイエン 新聞雑誌の主筆記者
 大莊チイエンシイアオチイエン 稼チイエンシイアオチイエン 米
 大宗チイエンシイアオチイエン 主要なる種類、重要なる
 大草チイエンシイアオチイエン 稻、わら

大天チイエンシイアオチイエン 大亮チイエンシイアオチイエン 夜明け、夜のあけ
 大帖チイエンシイアオチイエン 婚嫁に用ふる文書
 大薑チイエンシイアオチイエン 卸賣すること(小賣に對し)
 大段チイエンシイアオチイエン 地チイエンシイアオチイエン 續き亘りたる大地積
 大肚チイエンシイアオチイエン 彌チイエンシイアオチイエン 勒チイエンシイアオチイエン なる
 大都チイエンシイアオチイエン 大抵、およそ
 大端チイエンシイアオチイエン 大事件、大事
 大頭チイエンシイアオチイエン 榮チイエンシイアオチイエン 蕪チイエンシイアオチイエン、かぶら
 大頭チイエンシイアオチイエン 魚チイエンシイアオチイエン たら(魚の名)
 大娘チイエンシイアオチイエン ちやうば、父の兄の妻
 大弄チイエンシイアオチイエン 弄チイエンシイアオチイエン 大業なる、仰々しき、贅澤
 大呢チイエンシイアオチイエン 國チイエンシイアオチイエン テンマーク國
 大兒チイエンシイアオチイエン 口チイエンシイアオチイエン (取引、賣買など)
 大後チイエンシイアオチイエン 天チイエンシイアオチイエン 明後日の次の日

大戸チイエンシイアオチイエン 富豪、豪家、かれもち
 大河チイエンシイアオチイエン 黄河のこゝ
 大湖チイエンシイアオチイエン 洞庭湖をいふ
 大紅チイエンシイアオチイエン 色チイエンシイアオチイエン 緋色、あかい
 大話チイエンシイアオチイエン 法螺話、誇張の言
 大發チイエンシイアオチイエン 發チイエンシイアオチイエン 發チイエンシイアオチイエン 非常に大なるもの
 大防チイエンシイアオチイエン 法則
 大糞チイエンシイアオチイエン 大便、くそ、人糞
 大父チイエンシイアオチイエン 母チイエンシイアオチイエン 天地、天皇皇后
 大報チイエンシイアオチイエン 文章語にて記したる新聞紙
 大伯チイエンシイアオチイエン 子チイエンシイアオチイエン 夫の兄
 大班チイエンシイアオチイエン 支店長、支配人
 大擺チイエンシイアオチイエン 大るばり、大手を振つてあ
 大幫チイエンシイアオチイエン 主要なる、多數の、大口の

大批チイエンシイアオチイエン 大口の注文、大口に纏まり
 大房チイエンシイアオチイエン 子チイエンシイアオチイエン 乞食小屋
 大火チイエンシイアオチイエン 肉類の料理、なまぐさ料理
 大葷チイエンシイアオチイエン 父の兄の妻、なばさん
 大賣チイエンシイアオチイエン おろしうり
 大門チイエンシイアオチイエン 戸チイエンシイアオチイエン 富家、かれもち
 大米チイエンシイアオチイエン 米
 大模チイエンシイアオチイエン 様チイエンシイアオチイエン 誇張する、見張る
 大指チイエンシイアオチイエン 親ゆび、拇指
 大牙チイエンシイアオチイエン 奥齒(おくば)
 大暈チイエンシイアオチイエン 頭チイエンシイアオチイエン 怠け者、游民
 大搖チイエンシイアオチイエン 大擺チイエンシイアオチイエン 氣揚々たること
 大洋チイエンシイアオチイエン 大銀貨(一圓弗銀)
 大領チイエンシイアオチイエン 毛皮付の襟巻代用にするも
 大領チイエンシイアオチイエン の、大襟巻

大覽チイエンシイアオチイエン 頭チイエンシイアオチイエン 大地積の土地を獨占せ
 大料チイエンシイアオチイエン およそ、大てい、大略、約
 大肉チイエンシイアオチイエン 豚肉のこゝ
 大綠チイエンシイアオチイエン 純綠色
 大溜チイエンシイアオチイエン 兒チイエンシイアオチイエン 一組の大團體
 大郎チイエンシイアオチイエン 長男、總領息子
 大外チイエンシイアオチイエン 甥チイエンシイアオチイエン 嫁したる姉妹の長男
 大他チイエンシイアオチイエン 們チイエンシイアオチイエン 彼れ、あの人、彼等
 大遷チイエンシイアオチイエン 損ふ、毀ふ、ひきする
 大場チイエンシイアオチイエン 落ちくづれる、崩壊する、こぼ
 大場チイエンシイアオチイエン 欠チイエンシイアオチイエン 缺損、不足
 大場チイエンシイアオチイエン 架チイエンシイアオチイエン おちる、衰へる、くづれる
 大鼻チイエンシイアオチイエン びしやんこ鼻、ひしやげ鼻
 大湯チイエンシイアオチイエン (透) しみる、にじむ、しみ透る

大榻チイエンシイアオチイエン (板) 臥床、寢臺の板
 大榻チイエンシイアオチイエン (帖) 石刷りする、拓本、法帖
 大獺チイエンシイアオチイエン かはなそ
 大塔チイエンシイアオチイエン (灰) たふ、す
 大塔チイエンシイアオチイエン 勘 測量する、實測する
 大塔チイエンシイアオチイエン 青 春日野外に散策する
 大踏チイエンシイアオチイエン ふむ
 大獸チイエンシイアオチイエン (呆) 痴愚なる、馬鹿なる
 大獸チイエンシイアオチイエン 子 馬鹿者、愚鈍
 大歹チイエンシイアオチイエン (毒) 悪しき、わるい、ひじい、
 大歹チイエンシイアオチイエン 代チイエンシイアオチイエン 悪辣なる
 大代チイエンシイアオチイエン 代チイエンシイアオチイエン 代理する
 大代チイエンシイアオチイエン 爲チイエンシイアオチイエン 代りになる、代理する
 大代チイエンシイアオチイエン 探チイエンシイアオチイエン 國務總理の代理
 大代チイエンシイアオチイエン 購チイエンシイアオチイエン 立替へて買ふ、代つて買ふ

大ア他、遷、塌、湯、榻、類、塔、踏、歹、獸、代

智明 明智なる、あきらかなる、わかる
 置 置く、備付くる、買取る
 置 買取る、備付くる
 置 同上
 置 家屋を買入る、
 置 家屋をいぼる、澁滞すること
 滞 頑陋なる、融通の利かざる
 滞 商品の賣行がわるいこと
 滞 秘結、便秘、滞りのある病
 滞 やく、あぶる(火にて)
 炙 白首、淫賣婦
 製 製造する、作る
 製 痔、じ(病)
 窒 さまたげ、故障、妨ぐる

喫 緻密なる、こまかき、こみ入り
 喫 記 あざ、ほくろ
 喫 敬 東修(教師に對する)
 喫 見 先生への謝金
 喫 吃 食する、たべる、食ふ
 喫 眼 前 虧 損失を來す
 喫 虧 損する、損失する
 喫 素 精進物を食すること
 喫 食 食物、食事
 喫 香 結構なる、工合よき
 喫 穿 衣食のこま、生活のこま
 喫 裙 帯 飯 女房に養はれてゐる
 喫 啞 むせる(食物にて)こと
 喫 情 買取する、(進物の爲に)

喫 醋 嫉妬する、やきもちをやく
 喫 喝 賭(道樂)
 喫 飽 食する、満腹さなれること
 喫 不 得 食べられぬ(食物が悪しき等の爲)
 喫 不 慣 食べ慣れざる、食べつ
 喫 不 住 堪得ざる、我慢し得
 喫 不 服 食べて腹工合の悪るき
 喫 不 下 食へても咽候へ通
 喫 不 了 食へきれざる(餘り多
 喫 墨 紙 吸取紙
 喫 力 奉公する、人に使用せ
 喫 獨 自立自活すること
 喫 兵 兵士、給料生活
 喫 油 紙 油などの汚點さなりたるを吸取る紙

眇 目やに、目糞
 味 的 一聲 ちーこーと聲
 鴟 鴟 ふうろう
 痴 痴 痴愚なる、白痴
 痴 癡 白痴、ばか
 痴 笑 ばかぢらひする
 痴 長 馬鹿を重れたりさいふ意味
 痴 子 馬鹿者
 痴 累 厄介者(自謙語)
 痴 慢 時をおくらせる、時間のお
 馳 馳 速く歩む
 馳 驛 飛脚、宿次ぎ人足
 筈 筈 管刑にて打つ筈
 池 池 貯水池、つゝみ、又
 池 劇 劇場の土階

匙 子 さい、又音シ去聲
 尺 寸 ものさし、寸尺
 尺 寸 規則正しき、整然たる
 尺 頭 店 反物屋、呉服店
 耻 耻 恥辱、はぢ
 耻 心 心に恥づる、廉恥心
 侈 奢 心 心におごり、贅澤、奢侈
 侈 費 むだつかひ
 齒 齒 年輪
 赤 赤 赤き、赤色、又馬色
 赤 身 赤身、裸體のこと
 赤 金 純金、純分の十分なる金
 赤 脚 赤脚、はだし、足袋を穿かざる

赤 體 赤木、はだか
 赤 木 命令する、いひつける、命する
 筋 筋 命令にて授くる、任命する
 筋 勅 勅語、詔勅、天子の語
 翅 翅 翅(鳥類の)
 叱 叱 叱責する、しかる
 斥 斥 排斥する、しりぞける
 斥 革 免職又は免官にする
 斥 責 叱責する、譴責する
 斥 責 叱責する、譴責する
 扎 刺 刺す、つきさす、又陽平
 扎 實 丈夫なる、堅實なる、かた
 扎 手 手 げしき、きつい
 扎 鍼 鍼にて治療すること

子眇、味、鴟、痴、遲、馳、筈、池、匙、尺、耻、侈、齒、赤、扎、
 子ア扎 一三三

岔道 枝路、わかれ道
 杖(枝) 枝また、また
 杖(杖) 猿股の類
 詔(異) 不思議なる、訝しき
 齋(飯) 寺院の食事
 齋(工) 巡拜者(寺院の)
 齋堂 寺院の食事をする場所
 側(臥) 横臥する
 側(房) 側面の建物、妾
 側(稜) 片寄りたる、傾きたる部分
 側(臉) 横顔、顔の側面
 摘(摘) 摘む、さる
 摘(印) 免職する、免官する

摘(果) 果物をもぎさる
 摘(跨) 時借りする、時貸しする
 摘(給) 同上
 摘(借) 時借りする、一時借り
 摘(頭) 植物の心をさめること
 摘(帽) 帽子をかぶる(脱ぐ、ここ)
 宅(子) 邸宅、大きやかなる邸、貴
 宅(第) 同上
 宅(門) 同上
 擇(手) みるむ、又音ツオの陽平
 擇(貨) 賣残りの品
 擇(對) 工夫 ひまを見て
 窄(海) せまき、狹隘なる、究屈なる

窄(巴) せまくるしき
 債(債) 債務、債権、借財
 債(家) 債権者
 債(戸) 債務者
 債(票) 債券
 差(差) 職務、官公職又音ツ、チア
 差(使) 役目、職務
 差(派) 職務を以て差遣する
 差(人) 小役人、官公吏
 拆(拆) くだく、ばらばらにする
 拆(開) 手紙などを破りあけること
 拆(信) 手紙をあける(開封する)
 拆(洗) 細かに離して洗ふ(衣服な
 字) 字を分析して占ふ、字判断

拆(房) 家屋を毀す、建物を取
 釵(釵) 飾身具(婦人の)
 柴(柴) たきぎ、まき
 柴(頭) 木炭のここ、雑木炭
 柴(火) 薪、たきもの
 柴(米) 生活必需品の總稱
 柴(魚) 乾魚、ひもの
 豺(豺) さいらう、お、かみ
 訛(壞) ツアア
 招(招) 招く、呼ぶ、募集する
 招(引) 引きつれる、招待する
 招(考) 試験を受ける人を募る
 招(生) 学生募集
 招(帖) 引札、びら(廣告の)、招待
 状

招(租) 借受人を募集する(土地家
 租) 屋などの)
 招(租) 租品を吐出す(白状して)
 招(罪) 白状する、服罪する
 招(罪) 白状する、服罪する
 招(標) 投票入札者を募集する
 招(募) 募集する、召集する
 招(搖) ほらを吹く、大言壯語する
 招(認) 白状する、自白する
 昭(昭) あきらかなる
 昭(君) 支那婦人の額あて
 昭(君) 支那婦人の額あて
 昭(忠) 忠死者を祀れる廟
 昭(召) 召す、よぶ、まねく
 昭(見) 謁見する
 昭(盤) 店の株を譲り渡さむとする
 朝(夕) あさ、早朝、又陽平有氣

著(著) 著明なる、あらはる、あらは
 著(意) 注意する
 著(意) 注意する
 著(驚) 驚く、びっくりする
 著(驚) 驚く、びっくりする
 著(匪) 著名の土匪
 著(忙) あわてる、氣をあせる
 著(雨) 雨にあたる、雨にあふ
 著(雨) 雨にあたる、雨にあふ
 著(落) 決定する、落着する
 著(落) 決定する、落着する
 著(兒) 方法、しかた、工夫
 著(涼) 風邪にかゝる、かぜをひく
 著(人) 去人を行かしむる
 燂(火) 火をもやす、火をたく
 燂(火) 火をもやす、火をたく
 燂(不) 著つかぬ
 燂(不) 著つかぬ
 爪(菜) 摘みさる、野菜を摘む

昌(盛) さかんなる、隆盛なる
 菅(蒲) しやうぶ(草)
 嗜(嘗) なる、味ふ、食べ試みる
 嗜(嘗) 初物を賞玩する
 常 平常、常に、ふだん
 常 復習する、温習する
 常 定備の人又は職工
 常 經常費
 常 従者、隨行者
 常 平生守るべき道
 常 久しく、ふだん、しよつち
 常 通常會
 常 再三、常に、しよつち
 償(命) 命を償ふ

腸(子) はらわた、心、心情、心事
 場 ころ、場所
 場 規 試験場の規則
 場 面 やうす、ありさま
 長 長き、又上聲無氣音
 長 死去すること
 長 常備の人夫又は職工
 長 生庫 質屋のこと
 長 生菓 落花生
 長 短 嘆息すること、な
 長 行 新聞廣告の長き行
 長 星 彗星
 長 河 天の川
 長 主顧 久しい間の花客(さく)

長 長髮賊のこと
 長 圓 楕圓形
 長 蘆 直隸省滄州の西北にあり
 廠(子) 工場、工場置場など
 廠 地 場所、置場
 廠 懷 打あける、思ふた事を話す
 廠 亮 あかるき、愉快なる
 廠 開 門 戸をあけ放つ
 廠 着 かけて、開放して
 廠 車 荷車、大車
 廠 表 片硝子の懐中時計
 暢 のびやかなる、心地よき
 暢 銷 賣れ行きの良き

唱 唄ふ、さなへる、うた
 唱 戲 劇、歌劇
 唱 曲 曲を唄ふ、うたをうたふ
 唱 榔 子 榔子曲をうたふ
 唱 啞 叮嚀なる返じ、へ、い
 倡(隨) みなへる、賛同する
 倡 辦 創設する、創立する
 倡 亂 反亂を企てること
 譏(誚) そしる、けなす、悪口する
 譏 刺 そしる、悪口する
 饑 饑饉、うねる
 饑 荒 饑饉年、凶年
 機 關 機密なる、機會、はた
 機 銅 蒸汽機關

機 心 變詐の心、利口の心
 機 器 機械類一切の稱
 機 巧 機敏なる、巧みなる
 機 杼 子の機をさ(はたの)
 機 軸 機械の軸、樞要の地位
 機 頭 機の織つけ
 機 辯 巧妙なる話振り
 機 伶 機敏なる、利巧なる、聰明
 機 房 機密室、はたをりば
 機 要 科 秘書課
 績 事 事績、ことごと
 績 勞 功勞、成績
 激 激する、激せしむる、煽動する、
 激 筒 ポンプ

激 發 發奮する、奮激する
 雞(雞) さり、にはさり
 雞 眼 そこまめ、魚の目
 雞 冠 子 ささか(鶏の)
 雞 絲 鶏肉の細く刻みたるもの
 雞 毛 官 小役人のこと
 雞 盲 さり目、夜めくら
 雞 皮 疥 瘡 さりはだ
 雞 叫 夜明け近き頃、一番鶏頭
 雞 嘴 斧 つるはし
 稽 かんがへる、しらべる
 稽 核 監査する、調査する
 稽 類 首をうなだれる(愁傷の容)
 肌 はだ、皮膚

チアジ唱、倡、譏、饑、機、績、激、鶏、稽、肌

肌 男根の俗稱
 撃 撃つ、攻撃する
 撃 掌 手をうつ、拍手すること
 几 小机、小さきつくね
 几 案 テーブル、机の總稱
 積 積む、ためる、貯蓄
 積 積 寄せあつめる、澤山集める
 積 積 推積する、山と積む
 汲 汲 汲む、水を汲む
 基 基 根本、基本、もと
 基 址 土臺、基地
 箕 箕 竹に編みたる
 躰 躰 躰の、かじ
 躰 角 躰の、隅(すみ)、かじ

跡 跡(迹) あき、跡
 乱 乱(ト) 占ふ、豫言する
 啣 啣(啣) 音ぶく音、ぐくぐく
 磯 磯 磯、濱邊
 吉 吉 良き、善良なる
 吉 省 吉林省のこま
 吉 地 墓地、陵墓
 吉 利 利、ふんぎの良き
 即 即 即時、立ごころに、早速、直ち
 即 午 正午、まひるごき
 即 早 早速、直ちに、即時
 或 或は、若しくは
 極 極 極点なる、極めて、極度の
 極 處 極点、極端、最後

急 急 急なる、急に、焦る
 急 水 急流
 急 數 忙しき、急迫せる
 急 死 焦悶して死ぬ、死ぬ程氣が
 及 及 及ぶ、及第する、至る
 及 格 及第すること
 及 歳 歳に及ぶこと
 及 筭 女子の妙齡になれる
 及 早 早速、はやく
 疾 疾 疾はやく、はやく、さく、速
 疾 速 速はやく、はやく、はやく、はやく
 亟 亟 急務、なるべく速く
 亟 務 急務、なるべく速く
 級 級 階級、位階
 集 集 集まる、集むる、いちば

集 市(いちば)
 集 鎮 町、大村、宿場
 籍 籍 原籍、身分、族籍
 稷 子(ひゑ)
 咭(啣) 咭(啣) 隅から隅まで
 擠 擠 隅、究屈にしめつける
 擠 擠 足をくふ(靴などが小さい)
 擠 擠 動 おしあつて動き得ざる
 擠 擠 乳をしぼり出すこと
 擠 擠 押しつぶす
 擠 擠 眉 目ませして話すこと
 擠 擠 眉 目ませして話すこと
 擠 擠 的 究屈てたまらぬ
 幾 幾 幾何、何程、ほんご
 幾 工 どれ程の仕事

幾 幾 幾乎 ほんご、も少しで...
 幾 乎 ほんご、も少しで...
 脊 脊 脊(梁) ニアンと發音す
 鯽 魚 魚 魚
 記 記 記憶する、おぼはる、記す
 記 性 記憶、ものおぼは
 記 室 書記、かき役
 記 賬 貸賣する
 記 清 明瞭に記憶すること
 記 錯 おぼはちがへ、記憶の誤り
 記 得 おぼは、記憶
 記 不 明瞭には記憶せざる、
 寄 寄 寄せる、つかはす、送る

寄 意 心を寄する
 寄 放 預けおく、あづける
 寄 交 交付する、差上げる
 寄 賣 賣捌方を委託すること
 計 計 計はかりこと、計る、かぞへる
 計 開 記、おぼは、扣
 計 款 振替勘定の證據金
 計 官 會計官、經理官
 計 點 計らる、數を計へる
 忌 忌 忌む、たしものする(禁忌)
 忌 口 食物をたつ
 忌 歳 禁忌の年
 忌 酒 禁酒すること
 季 季 季節、時候

家常話 普通ありふれた話
 家眷 家族、自己の家族
 家雀 すゞめ
 家慈 母、自己の母のこゝろ
 家丁 僕、めしつかひ、下僕
 家猫 飼猫(のら猫に對して)
 家邦 國家
 加増 増加する、加へる、そへる、ふ
 加印 捺印する
 加科 附加税、増税する
 加薪 加俸、増俸すること
 加色 打歩する(銀に)
 加平 打歩する(秤目の不足を)
 加利 辛味を加へたる料理

夾襖 あはせ上着、長き袴
 夾棍 足を挟む刑具
 夾帶 かくして携帯する
 夾磨 せりつく、催促する
 夾板 帆かけ船、帆船
 夾吧 合せ袂紗の類
 夾板子 刑具の一種
 夾鼻鏡 鼻めがね
 佳城 墓域のこゝろ、墓地
 嘉魚 よき、よみする、めでたき
 嘉平 魚綱(たい)
 嘉月 十二月の異名

傢具 家具、什器、世帯道具
 枷(號) 刑具、首又は手足のかせ
 枷示 同上の刑具にて街上にさらすこと
 挾 是さむ、壓迫する
 挾制 撃射する、壓制する
 袈裟 僧侶のけさ
 頰(鬚) ほ、ほ、ひげ
 裕(衣) あはせ
 假偽もの、虚なる、うそ
 假陰 天 半晴半曇
 假扣 押 假差押
 假山 つき山
 假使 若し……せしむるならば

假粧 ふりする、偽りて粧ふ
 假纂 兒にせ髪、かつら髪
 假話 うそ、虚言
 假花 局外に居て他人の事を
 假母 ま、母
 假如 たまへば、例せば
 甲子 甲乙の、かぶこ、甲羅、さし
 甲子 年齢、さし
 甲喇 滿洲語「部隊」の音譯
 嫁 嫁する、よめ入りすること
 嫁奩 嫁入道具、婦人の手筈
 價格 價格、あたひ、れだん
 價硬 正價、實價、割引又は掛値
 價實 掛値せざる正しき價

價例 料金の定め、料金規定
 價錢 價格、れだん
 價軟 値あること
 架たな、さへる
 架弄 だます、せんごうする
 架不住 支へきれざる、がまん
 架式 かけ、ありさま、外見
 架子大 外見をかざる、見れば
 架子 天子の乗物
 駕崩 天子の崩すること
 駕馬 皮 鞍皮(乗馬用の)
 莢(莢) 藥草の名
 卡(子) 支那内地通過税局
 卡房 同上

卡路 税局の設けある道
 指折りかぞへる、つ、つく
 指死 かみ殺す(犬が猫なごを)
 指算 指折りかぞへる
 指花 花を摘む
 恰 恰當なる、丁度よき
 恰當 同上
 恰巧 丁度都合よきこと
 交 交はる、交付する、わたす
 交椅 床几
 交印 事務の引継ぎする
 交午 午前十一時頃、正午近く
 交給 交付する、わたす
 交課 納税する、租税を交付する

交鎖 錠をかける
 交手 あしろ(足代)
 交收 受渡しする
 交卸 任務の引継する
 交代 交代する、代へる、さりかへる
 交代 價を交付する
 交界 境界、さかひ
 交清 交付済み、全部を交付する
 交更 時の代りに打つ鐘
 交通 票 北京交通銀行の兌換券
 交盤 交代する、代る
 交足 不足なく十分に交付する
 交稱 品を引渡す
 交嘴 争論する、又北京に流行する小鳥の名

交託 委託する、たのむ
 交連 蝶つがひ
 交往 交際する、往来する、懇意にする、こころまへる、やはらかなる、あまやかしたる小供
 嬌客 珍客、大切の客
 嬌子 甘やかして育てたる小兒
 嬌女 美人のこころ
 嬌嫩 かよわき、やわらかき
 澆灌 水をそ、ぎかける
 澆瓢 水を蒔く瓢箪の皮
 澆水 水を蒔く瓢箪の皮
 澆水 山椒胡椒の類、辛味
 椒(麵) おこる、驕慢なる、傲慢なる

膠にかわ、ねばりつくこと
 膠車 ゴム輪の車
 膠版 セラチン版
 膠皮車 ゴム輪の車(鐵輪に對して)
 焦 焦がす、焦げる、あせる
 焦炭 コークスの類
 焦脆 非常にもろき、さく／＼せる、歯切のよき
 蕉 芭蕉
 嘯(牙) 争を好む、口論する
 嚼(齒) かむ(齒にて)
 嚼過 生活費、其日の暮し
 嚼不動 かみきれぬ(硬くて)
 嚼用 生活費用
 脚(脚) あし

脚眼 くるぶし(足の)
 脚跟 か、こ
 脚下 目下、今、足元
 脚心 土ふます、足裏の中心
 脚錢 運賃(人足の)
 脚掌 足の裏
 脚鷄 魚の目(足に出来る)
 脚尖 足の爪先、足先
 脚價 人足の運賃、運び賃
 脚船 はしけ舟
 脚程 歩行の程度、旅行
 脚板 足のうち
 脚行 市兒 運搬屋、運送店
 脚櫂 足を乗せ置く小臺

脚踏車 足にて廻す水車、自轉車
 脚彎 ひかゞみ
 脚牙 運送屋、同清問屋
 脚驢 雇はれて人を乗する驢
 攪(和) 攪拌する、かきまぜる
 攪混 まぜる、まぜつかへす
 攪鬧 まぜつかへす、さはがす
 攪勻 よくかきまぜる、むらなくまぜる
 絞(頼) だます、あざむく
 絞(頼) しほる、絞罪に處すること
 絞監候 絞罪に處せらる既決囚
 勦(滅) 勦滅する、退治する
 僥(倖) ぎやうかう、まぐれあたり
 疾(腸) 疾(腸) コレラの類

餃(衣) はさみ切る、着物をはさみきる
 餃(子) 肉饅頭の一種
 角 角、すみ、つの又音チエ
 角口 口論する
 角門 くゞり門、小門
 繳 受取る、納付する、受入る
 繳 拂込濟、納付濟
 繳 渡す、交付する
 繳 納付濟、全部受入る、
 繳 全部納付する
 繳 受取りて又戻す
 繳 返してさりかへる
 繳 回り 回り戻す、受かへす
 矯 ためる、矯正する